

平成 28 年度
教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価報告書
《平成 27 年度実施事業》



天草市教育委員会

はじめに

平成19年6月に『地方教育行政の組織及び運営に関する法律』が一部改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、平成27年度に実施した教育委員会の事務事業について点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I 点検及び評価に関する要領	1P
1 趣 旨	
2 点検評価の対象範囲	
3 点検評価の方法	
4 点検評価員の委嘱	
5 点検評価の手順	
6 点検評価調書の作成	
II 教育委員会の活動状況について	4P
1 教育委員会会議	
2 教育委員の主な活動	
3 附属機関の状況	
4 教育委員会の情報発信	
III 点検評価の結果	6P
① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成	
② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成	
③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成	
④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進	
IV 外部点検評価	15P
1 点検評価員	
2 会 議	
3 点検評価員の主な意見	
○ 平成28年度 点検評価事業一覧	20P
○ 点検評価調書	22P

I 点検及び評価に関する要領

1 趣旨

この報告書は、天草市教育委員会の権限に属する事務の平成27年度の管理及び執行の状況について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第26条第1項の規定に基づき、点検及び評価を行う。

2 点検評価の対象範囲

点検評価の対象は、地教行法第21条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務のうち、「第2次天草市総合計画」や「天草市教育目標」を達成するための「基本方針」「努力目標」及び「事務事業」とする。

3 点検評価の方法

(1) 内部評価

○「基本方針」、「努力目標」については、事務事業の評価結果や教育環境の変化等から今後の「方向性」を判断する。

○「事務事業」については、その「必要性」、「有効性」等の観点から評価を行い、今後の「方向性」を判断する。

(2) 外部評価

学識経験を有する方から、「基本方針」、「努力目標」及び「事務事業」について意見を聴取する。

4 点検評価員の委嘱

(1)点検評価員の法的根拠 地教行法第26条第2項

(2)点検評価員の数 2人

(3)資格 教育に関し学識経験を有する方で、性別・年齢は問わない。

(4)任期 2年(再任を妨げない)

(5)報酬等 報酬・費用弁償については、天草市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定による。

5 点検評価の手順

点検評価は、次の順により行う。

①内部評価

事務局各課がその所管する事務事業等について、評価を行う。

②外部評価

上記①の内部評価の結果をもとに、点検評価員の意見を聴取する。

③最終評価

上記①及び②の外部評価の結果を踏まえ、教育委員会が最終的な評価を行う。

④議会への報告

教育委員会は、「点検及び評価報告書」を市議会に提出する。

⑤公表

教育委員会は、「点検及び評価報告書」を教育委員会ホームページに掲載し市民に公表する。

6 点検評価調書の作成

(1)「事業名」欄

平成27年度に実施した事務事業名を記載する。

(2)「第2次総合計画施策体系区分」欄

事務事業の上位施策となる第2次総合計画における施策を記載する。

(3)「教育目標」欄及び「基本方針」欄

「天草市教育目標」及びそれを達成するための「基本方針」を記載する。

(4)「目的」欄

事務事業を実施する目的を記載する。

(5)「内容」欄

事務事業の内容を記載する。

(6)「全体計画、概要」欄

平成27年度の「決算額」、評価の「指標名」及びその指標の「目標値」・「実績値」を記載する。

(7)「評価」欄

① 評価項目

評価は、次の項目について行う。

○「上位の施策(目標)への貢献」欄

市が各種の施策を推進する上で基本となる「第1次総合計画」や、教育行政の柱である「教育目標」等の上位計画の達成にどの程度貢献できたか、という観点から評価を行う。

○「市関与の必要性」欄

市が関与する必要性はどの程度か、という観点から評価を行う。

○「達成状況」欄

計画した内容や目標がどの程度達成されたか、という観点から評価を行う。なお、目標値を設定することが困難な事業については、事業(サービス)の充実度に応じた評価を行う。

② 評点

評価は、次の評点により行う。

○「上位の施策(目標)への貢献」欄

4:大いに貢献できた 3:貢献できた 2:少し貢献できなかった 1:ほとんど貢献できなかった

○「市関与の必要性」欄

4:関与の必要性が高い 3:関与の必要性がやや高い 2:関与の必要性はやや

低い 1:関与の必要性は低い

○「達成状況」欄

4:達成できた 3:だいたい達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった

(8) 総合評価

上記(7)の評価を踏まえ、総合的な評価を行い、今後の課題等を記載する。

(9) 方向性

上記(8)の総合評価を踏まえ、事務事業の今後の取組みの方向性について、次により記載する。

- 廃止:平成27年度で事務事業を廃止する
- 終了:設定した終期の到来又は事業目的の達成により事務事業を終了する
- 縮小:事業内容、事業量等を縮小して事務事業を継続する
- 見直して継続:他の事務事業との統合や内容を見直して継続する、又は新たに終期を設定して継続する
- 継続:現行の内容で事務事業を継続する
- 拡充:事業内容、事業量等を現行よりも拡充して事務事業を継続する

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員選任状況

《教育委員会委員一覧》

平成28年3月31日現在

役職名	氏名	任期
委員長	花里 昌直	H27.7.1～H31.6.30
委員長職務代理者	黒鶴 進治	H25.7.1～H29.6.30
委員	松本 由香里	H24.10.1～H28.6.30
委員	行合 八恵子	H25.1.1～H28.6.30
委員	木下 えり子	H26.7.1～H30.6.30
教育長	石井 二三男	H26.7.1～H30.6.30

※任期は委員としての任期は4年 ※委員長の任期は1年 ※教育長の任期は4年

2 教育委員会会議

会議は原則公開で行い、毎月1回の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催し、教育行政の実施に関する事項等の審議を行います。平成27年度においては、定例会を12回、臨時会を5回開催し、議案52件の審議、協議報告37件について審議しました。

市民への積極的な情報提供を行うため、会議を傍聴できることや、会議の日時、場所のホームページへの掲載などを引き続き行います。

3 教育委員の主な活動状況

(1) 学校訪問

市内の幼稚園や小・中学校を訪問し、教育課程、学習指導、生徒指導その他専門的事項について指導・助言等を行うとともに、その学校の取り組みや抱えている課題の把握に努めました。この際、教育委員も参加し、校長との意見交換や授業・施設の視察等を行いました。

学校訪問の状況

区分	対象	期日	教育委員の出席状況
幼稚園訪問	3園	平成28年 1月21日～平成28年 2月 1日	延べ10人
小学校訪問	22校	平成27年 6月11日～平成27年11月29日	延べ39人
中学校訪問	13校	平成27年 6月11日～平成28年 2月18日	延べ28人

(2) 研修会への参加

教育委員会では、教育委員会関係団体の行事や研修会に参加し、情報交換や研さんに努めています。平成28年1月27日には、熊本県市町村教育委員研修大会に5名の教育委員（教育長含む）が出席しました。

(3) その他の主な会議や行事

会議・行事名等	期 日	教育委員の出席状況
服務宣誓式	平成27年 4月 2日	5人
入学式・入園式	平成27年 4月 9日・10日	延べ13人
社会を明るくする運動推進委員会	平成27年 7月2日	2人
成人式(10地区)	平成27年 8月、28年 1月	延べ15人
研究発表会(小中学校研究指定校6回)	平成27年10月～平成28年 1月	延べ20人
社会を明るくする運動推進大会 教育力活性化推進大会	平成27年 7月11日	3人
退職者感謝状贈呈式	平成28年 3月3日	5人
読書フェスティバル(講演、朗読)	平成27年10月17日・10月31日	2人
卒業式・卒園式	平成28年 3月	延べ13人

3 附属機関の状況

政策等を立案するに当たり、専門的な判断を要する事案等について、各関係者の意見を広く聴取し、様々な角度から議論を行うため、附属機関を設置しています。審議会等の開催状況は次のとおりです。

審議会等の名称	開催回数	主な審議案件
天草市奨学生選考委員会	1回	奨学生の選考
天草市就学指導委員会	2回	心身に障害のある児童生徒の就学指導
天草市いじめ防止対策協議会	2回	本市のいじめ問題に係る現状報告、いじめ事案に関する審議
天草市いじめ問題対策連絡協議会	2回	本市のいじめ問題に係る現状報告 いじめ問題に係る情報交換・意見交換
天草市立学校給食センター運営委員会 (各センターごとに設置)	各2回	給食費の決定、給食日数、納入業者の承認管理運営
天草市社会教育委員会議	2回	社会教育事業の事業計画、運営方針、公共施設再配置基本計画、条例・規則の改正
天草市立図書館協議会	2回	事業計画、規則の改正
天草市勤労青少年ホーム運営委員会	2回	事業計画、運営方針

4 教育委員会の情報発信

教育に関する制度や手続等の周知を図るとともに、教育委員会の取組みに関心を持っていただくため、ホームページにおいて市民へ様々な情報を提供しています。

平成27年度においては、教育委員会が主催する大会等の行事については、「市政だより天草」で随時掲載し周知に努めました。また、教育委員会定例会及び臨時会の開催日時、教育の現状及び課題、施策等についてもホームページで情報の提供を行っています。

Ⅲ 点検評価の結果

天草市教育振興基本計画の「基本方針」「努力目標」に基づく事務事業について評価を行いました。

なお、努力目標に対応する事務事業の評価の具体的内容については、別添の「点検評価調書」を参照してください。

基本方針		① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子ども育成
取り組みと成果	学校教育課	<p>(1) 道徳教育・人権教育の推進 各学校が作成する道徳・人権教育の教育指導計画について全て点検をおこなった。学校訪問指導等を活用し、適切かつ確実な授業実践及び日常的な指導について指導・助言ができた。それにより、児童生徒の規範意識の確立、人権を尊重した学級経営・授業づくりに資することができた。</p> <p>(2) 天草市特別支援教育総合推進事業 平成27年度も、市全体の課題である「移行支援」と「特別支援教育コーディネーターの役割」に焦点を当て、各種研修、会議等を実施した。コーディネーター経験の浅い教職員も、自信を持って自校の推進役を担うことができようになり、実践への意欲の向上も図ることができた。また、巡回相談員を委嘱できたことで、要望に応じた相談が行われた。それらにより、学校現場における指導者の特別支援教育に対する理解と指導力の向上に繋がった。更には、支援体制について、園・校内での共通理解と実践が図られるようになった。</p> <p>(3) 環境教育の推進(環境に優しい学校づくり) 市内の全小中学校が学校版環境ISOコンクールに参加し、学校の実情に並び、ゴミの分別や資源の節約等の実践を行うことができた。児童生徒の環境保全に対する意識が一層高まった。</p> <p>(4) 心の教室相談事業 中学校11校に「心の教室相談員」をそれぞれ1人ずつ配置し、不登校気味の生徒の適応指導や問題行動等に関係する生徒の教育相談等を実施し、問題解決に向けた指導、援助を行った。</p> <p>(5) 適応指導教室設置事業 教員免許を有する適応指導教室教員2人を配置し、不登校(気味)の生徒に対し、学習指導、教育相談等を実施した。</p> <p>(6) 教育相談事業 子育て全般及び教育全般において、教育相談員によるカウンセリングや助言指導、研修の実施により、特別支援教育推進、不登校やいじめ対策、幼保小中連携推進、幼児教育等の充実を図ることができた。</p>
	教育総務課	<p>(1) (仮称)本渡東小学校建設事業 本渡東地区の志柿小学校、瀬戸小学校、本渡東小学校の学校統合を進めるために、学校建設に伴う造成工事及び中学校施設の移設工事を行った。</p> <p>(2) (仮称)有明小学校建設事業 有明地区の大楠小学校、浦和小学校、島子小学校の学校統合を進めるために、敷地造成工事及び排水路工事などを実施した。</p>

	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どももの育成
取り組みと成果	教育総務課	(3) 小学校施設耐震補強事業 小学校屋内運動場の吊り天井撤去工事1件、照明器具等の落下防止対策工事19件、埋設ガス管の耐震化工事2件を実施した。 (4) 中学校施設耐震補強事業 中学校武道場等の吊り天井撤去工事8件及び照明器具等の落下防止対策工事5件を実施した。
	生涯学習課	(1)家庭教育支援事業 本渡東小学校、大楠小学校に家庭教育支援員を1名ずつ配置し、学校や地域の実情に応じた情報誌の発行・配付、相談体制、家庭教育講話や「親の学びプログラム」の普及等、家庭教育支援を行った。 また、家庭教育支援員2名と社会教育指導員2名が、天草教育事務所社会教育主事等と連携し、小・中学校66回、幼稚園、保育所（園）、その他児童館等35回、更に平成27年度からは3歳児及び5歳児健診時27回の計128回と様々な機会を捉えて、家庭教育講話を開催したことで、幼児期における家庭教育が子どもの成長に極めて重要な役割を担うということの意識を高めることができた。
評価・課題	学校教育課	(1) 道徳教育・人権教育の推進 心の教育の充実が教育の不易の内容であるので、国の動向も注視した改善及び教育実践を推進する必要がある。また、道徳教育や人権教育については、地域・保護者への啓発が必要であるため、連携や啓発の方法について学校に引き続き指導していく必要がある。 (2) 天草市特別支援教育総合推進事業 経験の浅いコーディネーターに対するサポート体制を充実し、全ての学校・園で特別支援教育が一層充実するよう研修の在り方等工夫する必要がある。また、園・学校のニーズに応じる巡回相談員の専門性について引き続き周知徹底を図り、継続した相談ができるような体制づくりを一層進める必要がある。 (3) 環境教育の推進(環境にやさしい学校づくり) 全ての学校で学校版環境ISOコンクールに参加し実践が進められているが、児童生徒一人一人の環境保全への意識が高まる取組の充実を図る必要がある。また、具体的な数値目標(例:前年比5%削減など)を設定するにあたっては、実態をしっかりと把握し無理のない目標となるよう工夫し、児童生徒が自らの活動の成果を実感できるような取組みを工夫する必要もある。 (4) 心の教室相談事業 教師への相談と違って生徒が気軽に相談ができるようになり、生徒及び保護者に安心感やゆとりが生まれ、問題解決への糸口が見出されている。平成28年度には全校に配置できる見込みで、今後は更に充実した体制で生徒の指導、助言ができるようになる。 (5) 適応指導教室設置事業 不登校を解消し指定の学校に復帰できることが最終目標であるため、それに向けて指導支援を行う必要がある。 (6) 教育相談事業 悩みや不安、問題を抱える保護者や教職員等からのニーズは高い。中でも「ことば」に関する相談が増加傾向にあるが、さらに相談内容に応じて専門の相談員が対応できる相談体制の充実と事業の周知の工夫が必要である。

基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成	
評価・課題	教育総務課	<p>(1) (仮称)本渡東小学校建設事業 天草市学校規模適正化（学校統廃合）推進計画に基づき、平成30年4月の開校を目指して計画とおり進めている。</p> <p>(2) (仮称)有明小学校建設事業 天草市学校規模適正化（学校統廃合）推進計画に基づき、平成30年4月の開校を目指して計画とおり進めている。</p> <p>(3) 小学校施設耐震補強事業 小学校の躯体の耐震化及び吊り天井対策は完了しているが、今後は非構造部材の点検を実施し、必要に応じて対策を行う必要がある。</p> <p>(4) 中学校施設耐震補強事業 中学校の躯体の耐震化及び吊り天井対策は完了しているが、今後は非構造部材の点検を実施し、必要に応じて対策を行う必要がある。</p>
	生涯学習課	<p>(1)家庭教育支援事業 子どもが健やかに育つためには、その基礎となる幼児期の家庭教育が極めて重要である。そのため、平成27年度から健康増進課と連携し、3・5歳児健診時において家庭教育講話の機会を設けたことで、家庭教育を学ぶ機会の拡充を図った。 今後は、幼稚園・保育所（園）の保護者への家庭教育講話の開催を増やすなど、幼児期の家庭教育の機会の拡充をもっと図る必要がある。 また、小学校2校に家庭教育支援員を2名配置しているが、事業継続のためには専門性の高い人材の確保が必要である。</p>

	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を 培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際 社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成
取り組みと成果	学校教育課	<p>(1) グローバル人材育成事業 留学生6人とALT数名が授業に参加し、児童生徒が外国語にふれあう機会を増やすことで、外国語に対する興味、関心を高めるとともに、共通語としての英語の重要性、必要性を学ぶ機会を与えることができた。また、教員の英会話事業に対する理解を深めるとともに、教員の授業スキルの向上に資することができた。</p> <p>(2) 学校教育研究委員会 平成27年度は、教育課程部会、いじめ不登校部会、英会話科部会の3部会により構成し、それぞれの立場から教育課題解決に向けて取り組んできた。中学校年間指導計画の作成、いじめ・不登校問題への対応、近年増加したSNSを介したトラブルへの対応、平成28年度から全小学校での英会話科実施に向けた研修の実施など、充実した内容となった。これらを通して、学校が抱える諸課題について、その解消を目指した具体的な取組が推進された。</p> <p>(3) 外国青年教師招致事業 国際化時代に備えた英語教育と国際理解教育の推進を図るため、外国語指導助手11人を配置した。中学校においては生徒の英語に対する興味、関心が高まり、コミュニケーション能力の育成をより図ることができ、小学校では外国語活動等で活用を図った。</p> <p>(4) 学習指導補助教員配置事業 学習指導補助教員は平成27年度には44人を配置し、チームティーチングを実施することで、一人一人の児童生徒の実態に応じたきめ細かな学習指導を行った。また、安全面に配慮した生活指導においても効果が上がっている。</p> <p>(5) 読書活動支援事業 学校での読書活動を推進するため、18人の学校司書を巡回方式により配置した。これにより、読書に対する児童生徒の意欲の向上が図られるとともに、図書室の環境整備・蔵書の充実、学習指導への協力等更なる充実が図られた。</p> <p>(6) 総合的な学習活動支援事業 変化の激しい社会に対応して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることなどをねらいとして、小中学校各々の伝統・文化・自然・歴見学や体験活動などの学習を実施し、学習内容の充実を図った。</p> <p>(7) 学校訪問指導の充実 小学校22校、中学校13校合計35校すべての学校に対し訪問指導を実施した。各学校の課題の把握、授業参観、諸表簿等の点検、また、そのことを通して課題解決に向けての実践を確認し、必要に応じて、指導助言を行った。毎年度、継続的、計画的に行っていることにより、指摘事項が年ごとに改善され、本市教育水準の向上に資することができた。</p> <p>(8) 市指定教育研究推進校補助金 天草市教育の質の向上を図ることをねらいとして、平成27年度は小学校3校、中学校2校を研究推進校として指定し、教科等教育、健康教育、心の教育実践の研究を行った。また、研究推進校の研究成果を他の小中学校にも普及させるため、午後半日(県の指定と兼ねた本渡中学校では1日)の研究発表会を実施した。これらを通して、教員一人一人の資質向上とスキルアップを図ることができた。</p>

	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を 培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際 社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成
取 り 組 み と 成 果	教育総務課	<p>(1) 離島高校生修学費支援事業 離島振興法を活用し、御所浦地区から高等学校等へ進学する際の、 交通費（船賃）及び下宿費等82名分を助成した。</p> <p>(2) 姉妹都市教育交流事業 平成27年8月3日～12日の日程で、エンシニタス市へ生徒6名 と引率者1名を派遣した。ホストファミリー宅にそれぞれ滞在し、市内の名 所や施設を訪問した。また、この姉妹都市交流プログラムを通して、天草を 訪れたことのある方や、研修生として天草を訪れた生徒の家族、現地の学 生と交流を深めた。</p> <p>(3) 小・中学校統合推進事業 天草市学校規模適正化（学校統廃合）推進計画に基づき、深海小学 校と久玉小学校の学校統合を推進するため、学校統合協議会（地区振 興会の代表、区長代表、保育所の保護者代表、PTAの代表、校長等 で構成）を設置し、統合について協議を行ったが、地元からの理解を 得られておらず、協議は整っていない。 平成25年4月に統合した旧大江小学校体育倉庫の解体及び平成2 5年度末に校舎等の施設が完成していた五和中学校境界確定測量を実 施した。</p>
	生涯学習課	<p>(1) 成人式 10地区で開催し、地域の来賓や保護者に見守られながら、自らが成人 となることを実感するとともに、社会人としての責任と義務を自覚する機 会となっている。また、新成人の出席率も84.4%と非常に高い。</p>
	学校給食課	<p>(1) 地産地消の推進 本市の豊かな食材を学校給食に生かしながら、安全・安心でおいしい学 校給食を提供することにより、子どもたちの心身の健全な発達と毎月「食育 の日」設定・推進により、食に関する正しい知識を養うことができた。また、 水産振興課と連携して、「お魚給食の日」を設定し、タイやブリを使用したメ ニューを提供し、子どもたちが魚への興味を持つと共に、地域の振興と活 性化に寄与することもできた。</p> <p>(2) 学校給食施設整備事業 天草市学校給食基本計画に基づき、栖本給食センターを改修し、倉岳給 食センターを栖本給食センターに統合し、2学期から給食を提供するこ うができた。</p>

	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を 培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際 社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成
評価・課題	学校教育課	<p>(1) グローバル人材育成事業 本市における外国語活動をどのように進めることが効果的であるか、ALTの活用方法と併せて検証する必要がある。</p> <p>(2) 学校教育研究委員会 教育を取り巻く社会の状況が激しく変化している状況に鑑み、重要課題の的確な把握や本研究委員会をの組織の在り方等検討していく必要がある。</p> <p>(3) 外国青年教師招致事業 外国青年を外国語指導助手として市内小・中学校に配置し、生きた外国語の学習、異文化交流を通して語学力の向上と外国語の授業の改善が図られた。また、小学校に巡回訪問することで、児童が外国語に触れ、外国語に親しむことができた。今後は、学校外での取り組みも進める必要がある。</p> <p>(4) 学習指導補助教員配置事業 学習指導補助教員の配置については、各学校からの配置要望が多いため、各学校の状況を十分把握して、優先順位を設け効果的な配置を行う必要がある。</p> <p>(5) 読書活動支援事業 専門的知識を有する司書の配置により、蔵書分類、図書室のレイアウト等環境整備が充実し、又新刊図書の紹介、本の借り方指導等が徹底され図書室利用の活性化、児童・生徒の読書活動意欲が促進された。また、読み聞かせをしたり、童話発表会の指導・助言を行ったりするなど、専門性を生かした取り組みができています。今後は、学校の統廃合による適正な配置と人員の確保が重要となる。</p> <p>(6) 総合的な学習活動支援事業 本事業のねらい「児童生徒自らが課題を見つけ、自ら学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる」を達成するため、予算措置の方法を検討する必要がある。</p> <p>(7) 学校訪問指導の充実 それぞれの学校が抱える教育課題の確実な把握と解消への方策検討、教職員の資質向上等に対応するため、より効果的な訪問の在り方について検討し改善してきたがまだ不十分である。なお一層の改革が必要である。</p> <p>(8) 市指定教育研究推進校補助金 市指定教育研究推進校については、指定校が毎年一部地域・学校に偏ることがないように、配慮を行う必要がある。</p>
	教育総務課	<p>(1) 離島高校生修学費支援事業</p> <p>①本市における教育機会均等の観点から、高等学校等が設置されていない御所浦地区の高校生が、安心して勉学に打ち込める環境を整備することができた。</p> <p>②御所浦架橋事業の長期化に伴う離島のハンディキャップを解消する必要があるため、通学に係る保護者負担分等についての軽減策の実施を行っている。しかし、天草市外の高等学校へ通学する生徒への支援については、他地区の市外高等学校に在籍する生徒との公平性が課題である。</p>

基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を 培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際 社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成	
評価・ 課題	教育総務課	<p>(2) 姉妹都市教育交流事業 異文化体験をすることにより国際理解を深め、相互において大変意 義のある事業となった。派遣するにあたり、参加者に派遣費用の一部 を負担してもらう必要があるが、負担率を上げた場合にはどれくらい 派遣希望者がいるのか把握する必要がある。また、観光旅行にならない よう内容を精査する必要がある。</p> <p>(3) 小・中学校統合推進事業 複式学級の解消と学校規模の適正化により、児童がよりよい教育環 境の中で、より効果的な教育が受けられるように、天草市学校規模適 正化（学校統廃合）推進計画を進めていかねばならない。 現在までに学校統合により廃校となった跡地については、利活用が 課題である。</p>
	生涯学習課	<p>(1) 成人式 新成人の出席率も 84.4%と非常に高い。今後、新成人の数は著しく減少 する見込みであり、出席率を保ちながら、新成人や保護者、地域にとって 魅力ある成人式となるよう内容について検討を続ける必要がある。また、ア ンケート等の結果から当面は、10地区ごとの開催を継続するが、今後の 新成人数の減少と地域の希望等を鑑みながら、適切な開催の在り方につ いても検討を続ける必要がある。</p>
	学校給食課	<p>(1) 地産地消の推進 食材によりばらつきがあり、米は100%の地産地消率であるが、肉類は 地場産の価格が高く、市外からの物が多い。野菜等は時期により地元産 の食材がないなど、安定した量の確保についても、課題が多い。 今後は、行政として横の連携(農林・水産振興課)を強化し、補助も活用し ながら地元特産品の活用を引き続き図るようにする。</p> <p>(1) 学校給食施設整備事業 栖本学校給食センターの改修工事については、市場要因により、26年 度は目標を達成できなかったが、27年度については工期内に完了するこ とができた。そして8月に倉岳と栖本給食センターの統合も無事完了し、2 学期から予定どおり栖本給食センターで給食の提供をすることができたの で、評価することができる。</p>

基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成
取り組みと成果	<p>生涯学習課</p> <p>(1) 移動図書館事業・読書活動推進事業 移動図書館においては、配本所の見直しや巡回箇所を増加したことにより、貸出数が増加した。また、読書活動推進事業では、市民が本に興味を持ち読書活動のきっかけとなるよう、読書フェスティバルやライブラリーカフェ等様々な事業を実施したことにより、図書館の利用者数の増加につながった。</p> <p>(2) 生涯学習推進事業・勤労青少年ホーム事業 生涯学習推進事業は、地区振興会等と連携することにより、地域の特色や要望に応じた講演会や講座を開催することで、参加者数も増加し、市民に多様な学習の機会を提供することができた。 勤労青少年ホーム事業は、勤労青少年の学習や活動の場として利用者のニーズを踏まえた講座やオープン講座を開催した。また、講座開催期間を長くしたことで利用者の仲間づくりには効果があったが、利用者は年々減少傾向にある。そのため、社会的な情勢を鑑みて、利用対象年齢を35歳未満から45歳未満に引き上げた。</p>
評価・課題	<p>生涯学習課</p> <p>(1) 移動図書館事業・読書活動推進事業 移動図書館の配本は、効率的に実施できるよう内容や運用の検討をしていく。また、読書活動推進事業においては、家庭・地域・学校等との連携協力を行い、特に、活字離れが進んでいる子どもたちの読書活動を推進できるような事業に取り組む必要がある。</p> <p>(2) 生涯学習推進事業・勤労青少年ホーム事業 講座開催数、参加者数共に年々増加しているが、参加者の年齢層については、高齢者に偏りがちである。 このため、幅広い年齢層が参加しやすい講座・自主的な活動につながる講座等の開催を各地区公民館計画に盛り込む等、できるだけ多くの市民に学ぶ機会を提供できるよう、取り組んでいく必要がある。 また、市民が公民館講座についての情報を得やすいように、情報の発信方法についても検討をしていく必要がある。 勤労青少年ホーム事業については、チラシやホームページ等を活用し、対象である勤労青少年へ事業の周知、啓発に取り組む必要がある。また、社会的な状況を鑑みて、利用対象年齢も35歳未満から45歳未満に引き上げたことから、公民館の生涯学習推進事業等と連携した講座の開催を積極的に進める等、事業の見直しを図る必要がある。</p>

	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進
取り組みと成果	学校教育課	<p>(1) コミュニティスクールの推進に向けた取り組み 本町小学校、五和小中学校に学校運営協議会を置き学校運営等に対し協議する機会を設けている。地域の実情をよく知る学校運営協議会委員により、地域の教育力を積極的に取り入れた学校運営が行われた。児童生徒の豊かな心の育成や学力の向上につなげることができた。</p> <p>(2) 学校の自己評価 各学校の学校評価の在り方について、できる限り数値目標を設定するなどして、達成状況に客観性が保たれるようになってきた。また、学校便り等を通した保護者、地域への公表も進められた。</p>
	生涯学習課	<p>(1) 社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会 社会を明るくする運動については、作文や標語の募集を行い、保護司会と連携して啓発活動に取り組むことができた。また、教育力活性化推進大会は、参加した市民や教育関係者が、それぞれの今後の活動の参考となり、教育意欲の向上につながった。</p> <p>(2) 放課後子ども教室推進事業・青少年健全育成事業 放課後子ども教室2校については、継続して実施でき、放課後等の子どもの居場所を確保するとともに、地域の方々の参画を得て、学習や体験・交流の機会を提供することができた。</p> <p>青少年健全育成事業では、3事業を市が直接実施し、青少年健全育成事業を実施する6団体に補助金を交付した。青少年が地域の伝統的事業の体験活動や、郷土の歴史学習、地域間交流活動、外国文化に触れる異文化交流活動等により、ふるさとの素晴らしさ再発見することで、ふるさとを愛する子どもたちの健全育成につながった。</p>
評価・課題	学校教育課	<p>(1) コミュニティスクールの推進に向けた取り組み 市内全ての小中学校において、コミュニティスクール導入を検討し、地域の教育力を学校経営に活かす取組の充実を図る必要がある。</p> <p>(2) 学校の自己評価 自己評価した結果を保護者や地域へ広く周知する方法を工夫すると共に、学校関係者評価の結果も踏まえ、自己評価の工夫改善に繋げる必要がある。</p>
	生涯学習課	<p>(1) 社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会 参加した市民や教育関係者にとって今後の活動の参考になるような内容を企画しながら継続する必要がある。</p> <p>(2) 放課後子ども教室推進事業・青少年健全育成事業 放課後子ども教室については、地域のコーディネーターとなる人材の確保とともに、「放課後児童クラブ」の配置状況や進捗状況を見ながら、事業の見直しを含め、子育て支援課と協議を行う必要がある。</p> <p>青少年健全育成事業については、市民団体等を主体とした青少年育成活動をさらに活性化するために、補助金要領を随時見直すとともに、事業の周知に力を入れながら、補助事業を継続する必要がある。なお、対象を各地域の青少年に限定して教育委員会が実施していた「寺子屋体験学習」や「化石セミナー」、「とんとこ漁体験」については、各々の地域づくり事業として、実施主体を変えて実施することとする。</p>

IV 外部点検評価

1 点検評価員 (50音順・敬称略)

氏 名	所 属 等
松 尾 博 之	元天草市教育委員
澤 田 道 夫	熊本県立大学総合管理学部准教授

2 会 議

第1回点検評価員会議

- ・ 平成28年 7月20日(水) 五和農業情報センター マルチメディア室

第2回点検評価員会議

- ・ 平成28年 8月30日(火) 五和農業情報センター マルチメディア室

3 点検評価員の主な意見

①教育総務課所管事業

- ・ (仮称)本渡東小学校建設事業及び(仮称)有明小学校建設工事について、建設計画があり、進捗率について点検評価をするのであれば、点検評価を行う事業に該当する。しかし、実績のみでは点検評価できないので、点検評価を行わなければならない事業であるか検討する必要がある。
- ・ 小学校施設耐震補強事業及び中学校施設耐震補強工事について、躯体及び吊り天井についての耐震補強工事は終了したとのことであるが、今後の課題に記載されているよう、非構造部材について、国からの指針等に従い、事業を進めていただきたい。
- ・ 離島高校生修学支援事業について、離島振興法を活用した事業であり、御所浦地区の高校生保護者にとって有益な補助となっている。しかし、昨年も指摘したとおり、下宿等経費については、離島であるなしに関わらず、他地区の生徒も下宿等をしており平等性を欠いた制度である。不平等を是正する制度の検討をする必要がある。今後の方向性については、調書記載のとおり「見直して継続」が妥当である。
- ・ 姉妹都市教育交流事業について、市立学校の生徒を派遣する事業であれば市の関与が高い事業と思われる。学校教育課所管事業であるグローバル人材育成事業との統合も視野に入れながら検討する必要がある。今後の方向性については、調書記載のとおり「見直して継続」が妥当である。
- ・ 小・中学校推進統合事業について、学校規模適正化推進計画に基づいた事業であり、子ども達にとって、より良い教育環境を整備する必要がある。地元等の理解を得ながら進めて頂きたい。今後の方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。

②学校教育課所管事業

- ・ 道徳教育・人権教育の推進について、SNS利用時のトラブルが発生している。今後は情報リテラシーに関する教育を進めていく必要がある。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。

- ・ 天草市特別支援教育総合推進事業について、目標があり、それに対する実績を基に成果が達成されているのかいないのかの判断を行う。多ければ良い、少なければ望ましいというものは目標値の設定が難しい。相談に対する対応件数にする等、目標値の設定について検討が必要である。
- ・ 環境教育の推進(環境にやさしい学校づくり)について、ここ数年の検討課題となっている顕彰の機会を設けることは、意欲の向上にも繋がる。子どもたちの学校版ISOコンクールで校長から賞を授与すること子どもたちのやる気も向上すると思われるので、顕彰の機会をぜひ設けるよう要望する。
- ・ 心の教室相談事業について、地域に適合する人材の確保が困難であるとのことであるが、人選に配慮しながら人材の確保に努める必要がある。また、学校規模に合った相談員数の配置を検討する必要がある。相談員同士の連携を図るため、研修会を充実させていただきたい。
- ・ 適応指導教室設置事業について、実施していない他地区にもニーズがあると思われる。今後は対象者の増加も考えられるので、類似する他事業との統合を検討する必要がある。
- ・ 教育相談事業について、本事業の潜在的ニーズは高いと思われる。相談者のニーズに迅速に対応できるような体制を構築する必要がある。相談件数が増加した場合の人材確保について検討する必要がある。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ グローバル人材育成事業について、事業の拡充を望むのであれば、事業の重要性について記載する必要がある。指標の目標値について、数値が高く成果の主張はできるが、来年度以降、この目標値は使いづらくなる。目標値の設定について検討する必要がある。
- ・ 学校教育研究委員会について、様々な課題に対して各部会が組織され活動されている。すべての部会について指標が設定されているわけではない。昨年も指摘したが、部会ごとに評価をすることが望ましい。
- ・ 外国青年教師招致事業について、地域行事等への参加を促すとのことであるなら、地域交流の達成状況等を成果指標としても良いのではないかと考える。地域交流をどの様に行っているのか、内容に具体的に記載する必要がある。地域住民がALTと交流するためには、住民にどのようなALTが自分の地域に住んでいるのか周知することも必要である。
- ・ 学習指導補助教員設置事業について、学校からの要望数に対して配置数が不足している。しかし、限られた予算の中で事業を行うためには、真に配置が必要な学校の選定を行うことが重要である。今後の方向性については、調書記載のとおり「拡充」が妥当である。
- ・ 読書活動支援事業について、学校司書が配置されたことにより、図書室の環境整備と図書の本の整備が図られてきている。今後の方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 総合的な学習活動支援事業について、「ふるさと体験事業」と統合されたとのことであるが、統合されたのであれば、調書に「ふるさと体験事業」についての記載をする必要がある。事業の統合によって事業に影響がないか検証を行う必要がある。
- ・ 学校訪問指導の充実について、学校訪問をすることにより学校には刺激を与えることができる。内容を工夫しながらマンネリ化しないよう取り組む必要がある。訪問時の資料作成に

ついて負担になってはいけない。そのためには体裁にこだわるのではなく、内容を充実された方が良く思う。

- ・ 市指定教育研究推進校補助金について、指定校が固定化されている。指定校が偏らないよう、指定方法を工夫しながら事業を行う必要がある。調書では具体的にどの様な事業がなされ、どういう成果が上がっているのか見えない。指定することにより、教育力・研究力が向上につながっているのか記載することが必要である。
- ・ コミュニティ・スクールの推進に向けた取組みについて、事業を実施している3校だけのための取組みではないか。熊本県版コミュニティ・スクールを実施する学校が増加し、熊本版コミュニティ・スクールで活動できるのであれば、事業の実施意義を再度確認する必要がある。方向性については、調書記載のとおり「見直して継続」が妥当である。
- ・ 学校の自己評価について、学校の事項評価は法律の規定により行うものである。自己点検を行っているのかいないかについてであれば評価する必要はない。点検評価を行わなければならない事業であるのか検討する必要がある。

③生涯学習課所管事業

- ・ 家庭教育支援事業について、支援員を2年間で依頼しているとのことであるが、今後継続していくためには、人材確保が必要である。また、地域人材をどの様にリクルートするのかを考えていかなければならない。教育関係においては、家庭教育支援事業は重要であるので、積極的に取り組みながら継続願いたい。
- ・ 成人式について、地域の同窓会となっている側面があるため、合同開催は難しいと考える。参加率も高いので、無理に合同開催にするのではなく、今後の状況により、合同開催の検討を進める必要がある。新成人が企画・運営を行うことは良いことである。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 移動図書館事業について、病院施設等要望がある場所へ巡回しており、利用冊数・利用者数も増加していることから、方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 読書活動推進事業について、複数の事業をまとめたことにより、評価する上で成果指標の設定が難しい。成果指標の設定を工夫する必要がある。
- ・ 生涯学習推進事業について、講座数・参加者数とも増加しているので、今後も新たなものにチャレンジしていただきたい。また、情報の発信を積極的に行い、見直しを行いながら積極的に事業に取り組んでいただきたい。
- ・ 勤労青少年ホーム事業について、対象者がどれだけいるのかにもよるが、将来的には生涯学習推進事業と統合して勤労青少年を対象とした講座を開催することを検討する必要がある。
- ・ 社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会について、巡回して開催しても良いのではないかと。目標値は開催場所によって設定しても良い。内容も非常に良く、進行も毎回違う高等学校の生徒が行い良い事業であるので内容の構成をどうするのかを工夫しながら継続していただきたい。よって、方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。

- ・ 放課後子ども教室推進事業について、地域のコーディネーターを確保するのが難しいのではないかと。子育て支援の所管課と連携し、今後の方向性を探っていく必要がある。
- ・ 青少年健全育成事業について、来年度以降は市主催事業を実施しないということであるならば、方向性については、調書記載のとおり「見直して継続」が妥当である。

④学校給食課所管事業

- ・ 地産地消の推進について、天草産・熊本県産の食材を使用した給食を提供する際には、子ども達に産地等を周知することが重要である。生産者等から話を子ども達に行っていることは評価できる。天草産・熊本県産材の使用割合を高めるためにプロジェクトチームを結成し、メニュー作りを考えていかなければならない。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。
- ・ 学校給食施設整備事業について、今後、老朽化が進んでいる施設についても、天草市学校給食基本計画に基づき、事業を推進する必要がある。方向性については、調書記載のとおり「継続」が妥当である。

4 総合評価

松尾博之氏

報告書は、これまでの点検評価員の方々の指導により、十分に精査されたように感じる。毎年、昨年度までの点検評価員であった熊本県立大学の石橋教授が常に言われていたのが、「この点検評価は、決して粗探しとか対決ではなく、それぞれの事業に対し、各課がどの様に真摯に取り組んできたかということの反省を含めて振り返る、自分たちへの通知表である。だからこそ、この一枚の調書に一年の思いを込めて表現して欲しい。」という言葉であったが、その通りである。お互いの立場で、建設的な意見を出し合い、良い調書に仕上げたい。

さて、調書の内容について昨年も申し上げたが、以前に比べ非常に分かりやすいものになった。特に、総合評価の部分、あるいは方向性の部分も記入方法が統一されてきており、非常に良かった。

その他、改修工事や営繕工事等は実施計画の策定があり進捗状況の管理ができなければ、評価ができないので、調書の作成は必要ないように思う。他に事業があるのであれば、過去の調書に記載されていない事業を是非加えて頂きたい。

澤田道夫氏

教育が抱える課題は天草だけの課題ではなく、全国的な課題であることが多い。天草市は市町合併によりエリアが非常に広い。いかに広いエリアの中で、子ども達に教育を提供していくか、教育の機会を確保していくかが天草市独自の課題と思われる。

子供の教育に地域の人達に参加して頂く、家庭教育・学校教育に加えて地域教育という視点が重要である。このことは教育の充実に加え、地域の方々の生きがいづくりにも繋がると思われる。今後は、地域と学校の連携させるような事業の実施検討して頂きたい。

① 点検評価調書の記入方法について

総合評価の市関与の必要性の記入方法で、事業の目的に対し、市がどの様に関わり、どの様な方向性で、どの程度市の関与が必要なのかを明確に記述する必要がある。また、方向性の部分では、現在6段階で表現されているが、特に見直して継続・継続の部分は積極的な継続と現状のままの継続、消極的な継続などがあり記入の仕方が難しく感じる。よって、総合評価の部分に言葉で、そのニュアンスを伝えられる様に記載した方が良いように思われる。

② 総合評価について

記載方法がより判り易く、非常に良くなった。総合評価は、調書の中で最も大切な自己評価の部分である。調書欄の構成を事業ごとに変えてみても良いように思う。

6段階の方向性の部分についての説明もしっかりと記載されていた。そのように、細かなニュアンスが必要な部分や拡充のための予算が必要な理由は、しっかりと記載して頂きたい。

③ 方向性について

方向性は6段階(廃止・終了・縮小・見直して継続・継続・拡充)で表現されているが、特に見直して継続・継続の部分は「積極的な継続」「現状のまま継続」「消極的な継続」などがあるように思われる。誰にでも判断しやすい表現方法に改める、または、総合評価欄でそのニュアンスを伝えられるよう記載するなど検討して頂きたい。

県が関係する事業で、「縮小」または「廃止」をしても良いと思われる事業があるように思われる。市としては、「廃止」の判断は難しいと思われるが、関係部署に於いて十分協議し、思い切って判断することも必要である。

IV 今後の方向性

- (1) 点検評価員の意見を真摯に受け止め、事業の統合ができるものがあれば、部署内で十分検討・協議を行い、積極的に取り組み、今後の教育行政の運営に反映させる。
- (2) 点検評価の結果の精査を行い、事務事業の今後の取り組みの方向性等の見直しを行うとともに、次年度の予算に反映させる。

平成28年度 点検評価事業一覧

教育目標	基本方針	努力目標	事務事業名	部門
<p>夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり</p> <p>自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり</p>	<p>① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成</p>	<p>道徳教育や人権教育を推進し、思いやりや規範意識をもった豊かな感性を育て、心の教育の充実を図る。</p>	1 道徳教育・人権教育の推進	学校教育課
			2 天草市特別支援教育総合推進事業	
			3 環境教育の推進（環境にやさしい学校づくり）	
		<p>教育相談体制を充実するとともに、いじめや不登校、問題行動等の解消及び未然防止に向けた取組を推進する。</p>	4 心の教室相談事業	
			5 適応指導教室設置事業	
			6 教育相談事業	
	<p>安全・安心で快適な施設等の整備充実を図る。</p>	7 (仮称) 本渡東小学校建設事業	教育総務課	
		8 (仮称) 有明小学校建設事業		
		9 小学校施設耐震補強事業		
		10 中学校施設耐震補強事業		
	<p>家庭教育力の回復に向けて、保護者等に対する講座の開催や情報の提供を行い、家庭教育の充実と推進を図る。</p>	11 家庭教育支援事業	生涯学習課	
	<p>② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成</p>	<p>基礎・基本や自ら考える力を身につけさせ、確かな学力の向上に努めるとともに、健康・体力の向上を図る。</p>	12 グローバル人材育成事業	学校教育課
			13 学校教育研究委員会	
			14 外国青年教師招致事業	
			15 学習指導補助教員設置事業	
			16 読書活動支援事業	
			17 総合的な学習活動支援事業	

平成28年度 点検評価事業一覧

教育目標	基本方針	努力目標	事務事業名		部門	
<p>夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり</p> <p>自然や伝統・文化を大切に、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり</p>	<p>② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成</p>	基礎・基本や自ら考える力を身につけさせ、確かな学力の向上に努めるとともに、健康・体力の向上を図る。	18	離島高校生修学費支援事業	教育総務課	
			19	姉妹都市教育交流事業		
		教育専門職としての指導力を向上させるとともに、信頼される教職員としての意識改革を図る。	20	学校訪問指導の充実	学校教育課	
			21	市指定教育研究推進校補助金		
		安心・安全でおいしい給食の提供に努めるとともに、地産地消を推進する。	22	地産地消の推進	学校給食課	
			23	学校給食施設整備事業		
		学校の統廃合による学校規模適正化計画を策定し、教育効果を重視した学校づくりを推進する。	24	小・中学校統合推進事業	教育総務課	
		家庭・学校・地域の連携を強化し、青少年教育に携わる指導者の育成や青少年団体の自主活動の支援など地域教育力の向上と青少年の健全育成に努める。	25	成人式	生涯学習課	
		<p>③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいをもち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成</p>	図書館は、市民の読書活動を推進するためボランティアの協力を得ながら、地域や家庭に広がっていくよう図書館事業を展開する。また、市民の情報センターとして、多様な要求に応えるとともに、情報を収集・管理し広範な知識や情報の発信に努める。	26		移動図書館事業
				27		読書活動推進事業
			公民館や社会教育施設は、住民の最も身近な行政機関として市民と協力し、社会の要請と市民の多様なニーズに対応した学習機会の提供と生涯学習の支援を図る。	28		生涯学習推進事業
				29		勤労青少年ホーム事業
		<p>④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進</p>	家庭や地域と連携し、学校を支援する体制づくりを進め、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。	30	コミュニティ・スクールの推進に向けた取組み	学校教育課
				31	学校の自己評価	
人権に対する正しい認識と理解を深めるための学習の機会を提供し、市民の人権意識の高揚と人権尊重の実践に努める。	32		社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会	生涯学習課		
<p>家庭・学校・地域の連携を強化し、青少年教育に携わる指導者の育成や青少年団体の自主活動の支援など地域教育力の向上と青少年の健全育成に努める。</p>	33		放課後子ども教室推進事業			
			34		青少年健全育成事業	

点検評価調書		整理番号	1				
事業名	道徳教育・人権教育の推進			担当課係名	学校教育課 指導係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	天草市教育目標の努力目標「道徳教育や人権教育を推進し、思いやりや規範意識をもった豊かな感性を育て、心の教育の充実を図る。」に基づき、人材の育成及び児童・生徒の個性の尊重を図り、併せて本市教育水準の向上に資するため、市内小・中学校の現状を把握するとともに、学校教育の一層の充実を図るため、学校訪問を行っている。						
内容	<p>○学校訪問時の指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係法規や児童生徒の実態、重点目標が明記された全体計画が作成されているか。 ・各教科、領域等との整合性のある年間指導計画が作成されているか。 ・児童生徒の発達段階に即した系統的な指導計画が作成されているか。 ・計画に即した実践が行われ、記録されているか。 <p>○授業参観時の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案に人権教育の視点が位置づけられているか。 ・人権に配慮した授業が展開されているか。 ・「特別の教科道徳」の趣旨・内容を踏まえた「考える道徳」「議論する道徳」の工夫が実践されているか。 <p>○心のアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の規範意識やいじめ等の実態を把握するために、市内全小中学校を対象とした心のアンケートを年2回実施。 						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標・成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
		実施学校数	校	目標値			
				実績値	35		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 心豊かに生きる子どもの育成に貢献している。</p> <p>○市関与の必要性 豊かな心を育み人権感覚をもつ人の育成は、地域住民、保護者の願いであり、よって市が関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 学校訪問7日前には、各学校から道徳教育・人権教育の教育指導計画を提出させ、全体計画・年間指導計画の整合性、各学級の実践状況等を確認している。全校への毎年の指導により各学校の人権教育、道徳教育の現状が改善されている。また、授業指導では、各種計画との整合を確認しながら視点を踏まえた指導について、分科会で直接授業者に伝え、その後反省・指導として文書で提出することになっている。このように、学校訪問全体をとおして、道徳教育・人権教育の推進が図られるよう指導を行っている。</p> <p>○今後の課題 携帯電話、スマートフォンの普及により、SNS利用時のトラブルが後を絶たない状況にある。情報モラル教育、情報リテラシーに関する研修の充実と確実な実践が急務である。方向性としては、積極的な取組として継続としたい。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	2				
事業名	天草市特別支援教育総合推進事業			担当課係名	学校教育課 指導係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	次世代の担い手を育む	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	現在、各保育所・園、幼稚園、学校において特性のある子どもについての保育・教育についての課題が多く見られる。社会の変化や子どもの障がいの重度・重複化、多様化に対応し、発達障害を含む障がいのある子どもや特別な支援を必要とする子どもの一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育や支援の実施に向けて、幼稚園・保育所(園)・学校・教育委員会・学識経験者・関係機関・保護者等の関係者からなる天草市特別支援教育連携協議会及び中学校区ごとの地区連携協議会を(13区)を設置し、天草市の特別支援教育の総合的な支援体制の整備及び特別支援教育の推進を図る。						
内容	本事業は教育長を会長とする天草市連携協議会を中心としながら13の中学校区における地区の連携協議会を土台として進めている事業である。市の事業の趣旨を推進会議ですべての地区に周知しながら、夏季の教職員を対象としたコーディネーター研修会や実務担当者会議及び巡回相談から進めている事業である。それらの実施を通して幼稚園・保育所(園)・学校における特別支援教育の体制整備を推進し、各組織の中での指導者の専門性の向上を目指している。 推進会議(年2回実施)では、本年度の事業全体の計画、取組について協議・評価を行い、取組の改善につなげる。また、実務担当者会議(年4回実施)では、コーディネーター研修及び推進会議に向けての協議を行い、各会議・研修の充実を図る。各会議においては、各園・学校の実態把握とともに、今日的な課題等も取り入れ、内容を充実させる。各研修においては、前年度の評価反省をもとに、研修テーマや内容を変更し、本事業の目的達成に向けた研修を行う。						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標・成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	175 (一般175)	重点項目達成率	%	目標値			
				実績値	53		
	巡回相談達成率 (相談案件数/希望相談件数)	%	目標値	100	4	4	4
			実績値	100			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 多様な個性や能力を十分に発揮できるインクルーシブ社会の構築を目指し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成に貢献している。</p> <p>○市関与の必要性 関係各課、保育所・園、幼稚園、学校との連携を深め、児童生徒、保護者、園・学校のニーズに応じた適切な支援体制の充実のため、関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 児童生徒の実態に即して重点項目を設定し、毎年、同じ組織で年間計画に基づき会議・研修を行いながら進めている。特別支援教育の理解や啓発に大いに寄与していると思われる。現場における指導者の特別支援教育への理解、指導の支援の向上につながっている。関連する組織に実施していただいている評価に基づき、前年度の課題点の改善に向けた研修を実施したことで、事業改善に繋がっている。</p> <p>○今後の課題 園・学校における体制整備、指導者の支援の質の向上に向けた取組がたいへん充実してきた。13の地区の中では、学校等相互の授業参観・保育参観を実施するなど独自の特色的な事業も多く見られるようになったが、まだ地域差も大きい。また、巡回相談件数が減少傾向にあるが、これは、それぞれの学校等での支援体制が整備されてきた証でもあるので、今後もやり方を工夫して継続としたい。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	3				
事業名	環境教育の推進(環境にやさしい学校づくり)			担当課係名	学校教育課 指導係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	次世代の担い手を育む	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	現在、温暖化や自然破壊など地球環境の悪化が深刻化している。そのような中、児童・生徒が、環境や環境問題に関心を持ち、主体的に環境保全活動に取り組んでいくことは未来を担う児童生徒にとって大変重要であり、様々な教育活動との関連を図りながら、持続可能な社会の構築をめざして環境の保全に配慮した望ましい働きかけのできる技能や態度を育成する。						
内容	各学校における環境教育の充実を目指し、様々な教育活動との関連を図りながら、児童・生徒が自ら考え行動し、環境にやさしい学校づくりのための学校版環境ISOコンクールに取り組む。また、学校で取り組んだことを、家庭や地域でも実践できるよう普及啓発に努める。 具体的には、校内ISO委員会を中心とした児童生徒の主体的な活動のもとで、宣言項目の決定、行動計画の作成、そして、実践、見直しといったPDCAの取組みを進める。						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	指標・成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
		実施学校数	校	目標値			
				実績値	35		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 持続可能な社会づくりは人類存続にとっての喫緊の課題である。さまざまな視点から環境教育にアプローチすることにより、児童生徒の主体的な活動の促進に寄与できると考える。郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会で活躍する人材育成を今後も目指していく。</p> <p>○市関与の必要性 環境問題の取組は、世界全体での取組でもあり、市関与の必要性は極めて高い。</p> <p>○達成状況 学校版環境ISOコンクールへ市内全小・中学校が参加することにより、「宣言→行動→点検→見直し」の基本的なサイクルをもとに、各学校の地域性等を生かした特色ある活動が展開されている。各学校において、全ての教育活動における環境教育の充実が図られており、児童・生徒の環境保全に対する意識が高まっている。</p> <p>○今後の課題 各学校のISOコンクールへの参加がマンネリ化しないよう、活動が充実している学校については、校長会で紹介するなど、顕彰の機会を設けたり、市独自の表彰を行うなどし、意欲向上に繋げたい。また、各教科等で扱う環境教育に関して、各学校の教育計画への位置づけを行い(位置づけが無い学校)、環境教育への一層の意識高揚を図る。方向性については、やり方を工夫して継続することとしたい。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	4					
事業名	心の教室相談事業			担当課係名	学校教育課 教務2係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	中学校の生徒が悩みを気軽に話し、ストレスを少しでも和らげることのできるような環境を提供するため、各中学校の相談室に「心の教室相談員」を各1名配置し、悩みを抱える生徒の相談に対して、問題解決に向けた指導、助言を行い、生徒の心のケアにあたる。							
内容	<p>[心の教室相談員] (配置校) 本渡中1名、本渡東中1名、稜南中1名、牛深中1名、有明中1名、御所浦中1名 倉岳中1名、新和中1名、五和中1名、天草中1名、河浦中1名 計11名配置</p> <p>(業務内容) ① 教育相談 ② 相談室登校への対応 ③ 保護者との連携推進</p> <p>(報酬)1時間当たり 1,000円 ※週20時間以内</p>							
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標・成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	7,626 (一般 7,626)	相談件数	回	目標値				
				実績値	4,735			
	相談員設置校数	校	目標値	13		4	4	3
			実績値	11				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 いじめ・不登校問題の解決及びその未然防止に寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 義務教育期間であり、人間形成の重要な時期である思春期の生徒に対する心のケアを図るため、市が積極的に関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 前年度までの未設置校3校のうち1校については、学校の協力も得ながら配置できたが、残り2校については配置できなかった。</p> <p>○今後の課題 未設置校(2校)については、平成28年度当初には配置できる見込みである。この結果、全13校に配置できることとなったため、相談員の情報交換を含めた研修会等を更に充実させ質の向上を図り、子供たちの悩みなどに対する確かなアドバイスができるようにするなど支援の充実に努め、積極的に継続する。</p>						方向性	継続

点検評価調書		整理番号	5				
事業名	適応指導教室設置事業			担当課係名	学校教育課 教務2係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	次世代の担い手を育む	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	天草市勤労青少年ホームの一室に適応指導教室「カワセミ学級」を設置し、心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある市内中学校生徒に対して、「引きこもり」の防止、学校復帰を目的とした指導及び援助を行う。						
内容	<p>教員免許を有する適応指導教室教員2名を配置し、不登校(気味)の生徒に対し、学習指導、教育相談等を実施している。</p> <p>[開級日] 学校授業日のうち月曜日から金曜日</p> <p>[学級時間割] 朝の会 10:00～ (学習・給食) 帰りの会 15:00</p>						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	4,944 (一般 4,944)	通級生徒数 (うち学校へ復帰した生徒数)	人	目標値			
				実績値	9 (1)		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 それぞれの理由により、学校に登校できない子供たちに教育を受ける機会を別に提供する事業として、その存在意義は大きい。</p> <p>○市関与の必要性 通級する生徒は義務教育期間であるため、不登校の解消に関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 平成27年度は、6人の通級者と、3人の体験者の合計9人の在籍があった。このうち、3年生1人については、途中で本校に復帰し、全日制の高校に進学することができた。また、もう1人の3年生は、カワセミ学級に在籍しながら高校受験を行い、高校進学を果たすことができた。このように、事業の目的を十分達成することができている。</p> <p>○今後の課題 通級生徒全員が指定の学校への復帰を最大の目標に指導しているが、それも難しい場合は、生活リズムの安定から、将来の目標に向かった学習能力の確立など、子どもたちの可能性を見つけ、今後も指導・支援を行う必要がある。</p> <p>方向性については、当該学級は本渡地区にあるため、他の地区においても同様の教室が必要でないか考慮しているが、要望等については特にあがっていないため、今後の拡充については状況を確認しながら継続することとしたい。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	6				
事業名	教育相談事業			担当課係名	学校教育課 指導係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>教育相談員(教育相談カウンセラー、教育指導アドバイザー)を配置し、子育ての悩み・不安・ストレス等を持つ就学前幼児の保護者及び、小・中学校の児童・生徒やその保護者を対象にした相談活動を充実させ、保護者の子育てを支援する。</p> <p>また、必要に応じて教職員の悩みや学校での諸問題についての相談を実施し、解決に向けてサポートする。</p>						
内容	<p>教育相談カウンセラー(臨床心理士・言語聴覚士等)は要請のあった園、学校に出向きカウンセリングを実施。助言指導や情報の提供を行う。また、教職員等の研修講師や保護者講話等も行う。教育指導アドバイザーは相談のほか教育全般への指導助言を実施。</p> <p>○教育指導アドバイザー 1名 ○臨床心理士 3名(内1名は言語聴覚士の資格も保有) ○言語聴覚士 2名(内1名は臨床心理士の資格も保有) ○作業療法士 1名</p>						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標・成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	3,614 (一般 3,614)	教育相談日数	日	目標値			
				実績値	57		
	カウンセリング件数	件	目標値		4	4	4
			実績値	141			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 悩みを持つ方々の不安やストレスを和らげたり、悩み等の解消に向けた相談活動を充実させることにより、心豊かに生きる子どもの育成に貢献している。</p> <p>○市関与の必要性 子育て全般(子どもの発達や不登校等)や特別支援教育等で不安を抱える保護者、また関係教職員からの幅広いニーズに対応した相談体制のさらなる充実のため、市が関与する必要性がある。</p> <p>○達成状況 就学前の幼児から小中学校の児童生徒の健全な育成を図るため、カウンセラーによる専門的なカウンセリングや指導助言はとても有効であり、目的達成度は高い。</p> <p>○今後の課題 教育相談を必要とする潜在的なニーズはもっと高いと思われる。早期発見と早期対応が必要である。相談者のニーズに対し、より早期に対応したり、またより多くの相談が受けられるよう日程調節をはじめやり方を工夫して継続することとしたい。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	7					
事業名	(仮称)本渡東小学校建設事業			担当課係名	教育総務課 施設係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 教育を支える環境づくりの推進			
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	本渡東地区の志柿小学校、瀬戸小学校、本渡東小学校の学校統合を進めるために、教育施設を整備し、複式学級の解消を図るとともに教育環境の整備を図る。							
内容	【事業内容】 小学校建設に伴う造成工事や小学校の敷地として計画している中学校のテニスコート及び部室移設工事等を実施。 【事業費】 敷地造成工事費 44,469千円 本渡東中学校テニスコート移設工事費等 41,138千円 本渡東中学校部室移設工事費 7,781千円 建築確認等手数料 381千円 計 93,769千円							
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度		上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	93,769 (一般 93,769)	整備校数	校	目標値	1			
				実績値	1			
			目標値			4	4	4
			実績値					
総合評価	○上位施策への貢献 学校規模適正化を図るための事業であり、貢献度は高い。 ○市関与の必要性 市立学校の整備であり、安全な学校を整備する必要がある。 ○達成状況 工期までには完了し、達成できた。 ○今後の課題 中学校に隣接した施設配置となるので、工事期間中の安全対策等について中学校と協議しながら進めていく必要がある。						方向性	継続

点検評価調査		整理番号	8					
事業名	(仮称)有明小学校建設事業			担当課係名	教育総務課 施設係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 教育を支える環境づくりの推進			
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	有明地区の大楠小学校、浦和小学校、島子小学校の学校統合を進めるために、教育施設を整備し、複式学級の解消を図るとともに教育環境の整備を図る。							
内容	<p>【事業内容】 小学校建設に伴う造成工事や排水路工事及び有明支所受電設備等の移設工事を実施。 小学校建設用地となる有明支所車庫の解体工事費はH26からの繰越。</p> <p>【事業費】 敷地造成工事費 50,812千円 排水路改良工事費 37,819千円 有明支所受電設備等移設工事費 7,862千円 電柱移転補償費 1,387千円 建築確認等手数料 609千円 計 98,489千円 有明支所車庫解体工事費 8,132千円 合計 106,621千円</p>							
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	106,621 (一般 106,621)	整備校数	校	目標値	1			
				実績値	1			
			目標値			4	4	4
			実績値					
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学校規模適正化を図るための事業であり、貢献度は高い。</p> <p>○市関与の必要性 市立学校の整備であり、安全な学校を整備する必要がある。</p> <p>○達成状況 学校建設に伴う敷地造成工事以外の工事については、工期までには完了し達成できた。敷地造成工事は一部をH28年度へ繰越すことになったがH28年度で実施する校舎建設工事等には工程では影響しないことになっている。</p> <p>○今後の課題 有明支所に隣接した施設配置となることから、支所への来客が多いので工事期間中の安全対策等については特に注意しながら進めていく必要がある。</p>						方向性	継続

点検評価調査		整理番号	9					
事業名	小学校施設耐震補強事業			担当課係名	教育総務課 施設係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	教育を支える環境づくりの推進		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校施設は、児童生徒等が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急 避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要であるため、屋内運動場等 の天井等総点検及び吊り天井撤去工事を行う。							
内容	<p><屋内運動場等の天井等落下防止対策及び埋設ガス管の耐震化工事></p> <ul style="list-style-type: none"> ●総事業費 24,045千円 ●事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・吊り天井撤去工事 1件 18,991千円 ・照明器具等の落下防止対策工事 19件 3,557千円 ・埋設ガス管の耐震化工事 2件 1,497千円 <p>【主として整備した内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内運動場吊り天井撤去工事（1校 1件） 本渡南小 ・照明器具等の落下防止対策工事（14校 19件） 本渡南小、本渡北小、志柿小、本渡東小、瀬戸小、本町小、佐伊津小、深海小、久玉小、 大楠小、島子小、御所浦小、倉岳小、栖本小、 ・埋設ガス管の耐震化工事（2校 2件） 本渡南小、本渡北小 							
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	24,045 (国庫 5,742) (一般 18,303)	整備箇所数	件	目標値	22			
				実績値	22			
			目標値		4	4	4	
			実績値					
総合評価	<p>○上位施策への貢献 教育環境の整った施設で学習することは、学校教育を進めるうえで重要なことである。</p> <p>○市関与の必要性 市立学校の整備であり、安全な学校を整備する必要がある。</p> <p>○達成状況 計画どおり達成できた。</p> <p>○今後の課題 学校の躯体の耐震化及び吊り天井対策は完了しているが、今後は非構造部材の点検を実施し、必要に応じて対策を行う必要がある。</p>						方向性	終了

点検評価調書		整理番号	10				
事業名	中学校施設耐震補強事業			担当課係名	教育総務課 施設係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 教育を支える環境づくりの推進		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校施設は、児童生徒等が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急 避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要であるため、屋内運動場等 の天井等総点検及び吊り天井撤去工事を行う。						
内容	<p><屋内運動場等の天井等落下防止対策工事></p> <ul style="list-style-type: none"> ●総事業費 94,797千円 ●事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・武道場等吊り天井撤去工事 8件 92,126千円 ・照明器具等の落下防止対策工事 5件 2,671千円 <p>【主として整備した内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武道場等吊り天井撤去工事（7校 8件） 本渡中、本渡東中、稜南中、有明中、御所浦中、五和中、河浦中 ・照明器具等の落下防止対策工事（5校 5件） 牛深中、牛深東中、倉岳中、栖本中、新和中 						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	94,797 (国庫 29,711) (一般 65,086)	整備箇所数	件	目標値			
				実績値	13		
					4	4	4
総合評価	<p>○上位施策への貢献 教育環境の整った施設で学習することは、学校教育を進めるうえで重要なことである。</p> <p>○市関与の必要性 市立学校の整備であり、安全な学校を整備する必要がある。</p> <p>○達成状況 計画どおり達成できた。</p> <p>○今後の課題 学校の躯体の耐震化及び吊り天井対策は完了しているが、今後は非構造部材の点検を実施し、必要に応じて対策を行う必要がある。</p>					方向性	終了

点検評価調書		整理番号	11				
事業名	家庭教育支援事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校・地域の実情に応じた家庭教育に関する支援体制づくりや学習機会の提供等を行う家庭教育 支援員を市内の小学校に配置することで、きめ細かな家庭教育支援を行うとともに、子育てやしつけ 又は思春期の子どもが抱える悩みや問題等を通して家庭教育のあり方を見直す機会を提供し、家庭 における教育力の再生を図ることを目的とする。						
内容	<p>○本渡東小学校、大楠小学校に家庭教育支援員を1名ずつ配置し、学校や地域の実情に応じて、家 庭教育支援に関する業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報紙の発行・配付 ・相談体制づくりや対応(学校及び家庭) ・家庭教育講話や「親の学びプログラム」の普及等の学習機会の提供 <p>※「親の学びプログラム」とは、子育てのポイントを身近な話題から楽しく学んでもらうために開発さ れた参加体験型(参加者同士の話し合いや振り返り)の学習スタイルである。</p> <p>○各小中学校の就学時健診、PTA行事や3歳児・5歳児健診等の際、家庭教育に関する講座を開催 した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数128回(小学校56回、中学校10回、幼稚園3回、保育所(園)4回、3・5歳児健診27回、そ の他児童館等28回) ・延べ参加者数4,270人 						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	1,137 (県支出金 700) (一般 437)	家庭教育講座開催数	回	目標値			
				実績値	128		
	家庭教育講座参加者数	人	目標値	2,565	4	4	4
			実績値	4,270			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 子育てにおける家庭教育の重要性を再認識する機会を設け、家庭教育力の向上 を図ることができる。</p> <p>○市関与の必要性 家庭教育力・地域教育力の低下が懸念されており、家庭教育のあり方を見直す機 会や学習機会の提供等の支援を行っていく必要がある。</p> <p>○達成状況 本渡東小学校、大楠小学校に家庭教育支援員を1名ずつ配置し、学校や地域 の実情に応じた情報誌の発行・配付、相談体制、家庭教育講話や「親の学びプロ グラムの普及等、家庭教育支援を行った。</p> <p>また、家庭教育支援員2名と社会教育指導員2名が、天草教育事務所社会教育 主事等と連携し、小中学校を始め、様々な場で家庭教育講話を開催することが できた。更に、平成27年度からは3・5歳児健診時の講話を始めたことで、家庭教育につ いて学ぶ機会が増え、幼児期における家庭教育が子どもの成長に極めて重要な役 割を担うということを意識させることができた。</p> <p>○今後の課題 方向性としては、幼・保育園の保護者へ周知を行うなど家庭教育の機会の拡充を 図り、積極的に事業に取り組みながら継続することとしたい。</p> <p>また、家庭教育支援員2名を配置しているが、次の人材の確保が必要である。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	12				
事業名	グローバル人材育成事業			担当課係名	学校教育課 教務1係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	次世代の担い手を育む	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	さまざまな国の出身者(外国人)と児童・生徒が、伝統・文化・自然・歴史等の地域資源(宝)を共に 学び、会話を通してお互いの文化や言語の理解を深めることにより、積極的にコミュニケーションを図 ろうとする態度やコミュニケーション能力の育成を図る。						
内容	<p>【内容】 グループワークを通じて、互いの文化や言葉の違いを理解し合う。プログラム中のコミュニケーション は、原則として英語を使用する。</p> <p>【講師陣】 京都大学経営管理大学院留学生、天草市外国語指導助手</p> <p>【実施内容】 河浦中学校：平成27年8月27～28日 参加生徒：1・2年生の希望者(12人) 河浦小学校：平成27年9月1～2日 参加児童：全児童(171人)</p>						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標・成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	1,048 (一般 1,048)	受講前より英語が好きに なった生徒の割合	%	目標値 59.3 実績値 83.4			
		本事業を楽しんでいる児 童の割合	%	目標値 85 実績値 99.4	4	4	4
総合評価	<p>○上位政策への貢献 国際社会に生きる心身ともに健康な人材の育成に貢献している。</p> <p>○市関与の必要性 児童生徒の多様な人種や文化、言語等の理解を深め、グローバル化に対 応した人材育成や地域づくりを推進するためには、市の関与は必要である。</p> <p>○達成状況 参加した児童生徒のアンケート結果では、「受講前と比べて英語が好きに なった」と答えた生徒は83%を超え、受講前に英語が嫌いだった児童全員が 「とても楽しかった」または「楽しかった」と回答しているなど、児童生徒の外国 語に対する興味・関心の向上、コミュニケーション能力の育成が図られると ともに教員・ALTの授業スキルのアップ等の成果を得た。</p> <p>○今後の課題 児童生徒一人ひとりが外国語にふれる機会を増やすことで外国語への関 心が高まるため、外国語指導助手の活用方法について、検証する必要がある。 方向性については、より多くの児童生徒が参加できるよう実施方法等を 研究して実施することとしたい。</p>					方向性	拡充

点検評価調書		整理番号	13				
事業名	学校教育研究委員会		担当課係名	学校教育課 指導係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	市内幼稚園、小中学校の実態に応じた課題に対応するため、よりよい教育実践のための資料の作成や、いじめ不登校問題を中心とした生徒指導上の諸問題に対する共通理解と実践化を図るための会議を開催したりすることを通して、児童生徒の学力向上と、心豊かで充実した園・学校生活の確保を図る。						
内容	<p>「教育課程に関すること」、「いじめ不登校問題に関すること」、「小学校英会話科に関すること」の3つの課題に対して、それぞれ専門部を置き、調査・研究を進める。</p> <p><教育課程部会> 市内の幼稚園、小学校、中学校の園児や児童生徒の確かな学力や豊かな人間性を培うために、調査・研究を進め、市内の幼稚園・小・中学校に研究成果を提供する。本年度は、平成28年度から使用する中学校の各教科年間指導計画を作成する。</p> <p><いじめ不登校問題部会> 市内の小・中学校児童生徒の「いじめ問題」の解決を図るために、実践的に調査・研究を進め、その研究成果を市内全小中学校に提供する。その際、本市において6月と12月に実施する「心のアンケート」の集計、結果分析を行い、各学校に情報提供を行うと共に、いじめ・不登校の未然防止や早期発見・早期対応に資する。また、近年増加しているSNS問題についての調査・結果分析・情報提供も併せて行う。</p> <p><英会話科部会> 平成28年度から市内の全小学校で「英会話科」を実施するにあたり、昨年度より研究指定校としている亀川小学校と楠浦小学校の2校で実践研究を行う。本部会では、教材の整備や指導法の工夫改善に資する研究を行い、指定校2校への情報提供等を行っていく。</p>						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標・成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	785 (一般 785)	全国学力・学習状況調査 の全国平均正答率を上回 る項目数	項目数	目標値 全10項目 実績値 10項目			
	いじめ・不登校児童生徒数 の発生率	%	目標値 いじめ:9.7%以下 不登校:0.67%以下 (昨年度を下回る) 実績値 いじめ:6.0% 不登校:0.77%	4	4	4	
総合評価	<p>○上位施策への貢献 中学校用教科年間指導計画の作成や英会話科の充実、いじめ・不登校問題に対する各学校への情報提供により、学力向上、グローバル人材の育成及び心豊かに生きる人づくりに貢献した。</p> <p>○市関与の必要性 天草の子供たちが、将来に夢や希望をもち、それを達成するために必要な「確かな学力」や「豊かな心」を身につけさせることは、学校の責務であり、市の関与は必要である。</p> <p>○達成状況 平成27年度は、平成28年度以降の中学校用教科年間指導計画を作成し、これを市内全中学校に配付し、学習指導の充実が図られた。英会話科についても、指導計画の見直しや教職員研修の充実に関する研究を行い、平成28年度からの全校実施に向けての準備が整った。また、いじめ・不登校部会においては、調査・研究のための会議を年間3回開催し、各小中学校に対して具体的な提言は行えた。</p> <p>○今後の課題 全国学力・学習状況調査の実施等により、学力充実に対する市民の関心も一層高まっている中、一層の学力充実を図る具体的な手立が必要となる。また、近年、インターネットを介したいじめやトラブルが急増しており、不登校の増加と併せて、各学校への指導・助言を一層充実させる必要がある。また、小学校英会話科については、教職員への研修の充実を図り、全ての学校で計画に沿った充実した学習活動が展開されるようにしたい。方向性については、調査・研究内容の充実を図りながら継続することとしたい。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	14				
事業名	外国青年教師招致事業			担当課係名	学校教育課 教務2係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	次世代の担い手を育む	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>生きた外国語を市内小・中学生に学習させるため、外国語指導助手11人を市内小・中学校に巡回方式で配置し、語学指導等を行い、国際交流・異文化交流を推進する。</p> <p>小学校5・6年生において外国語活動が必修となっており、定期的に小学校への巡回も行い、生きた外国語に触れる良い機会となっている。</p>						
内容	<p>外国語指導助手11人を市内小・中学校に巡回方式で配置し、担任教諭とのチーム・ティーチングにより語学指導等を行う。また、外国語指導助手が居住する地域においては、国際交流の観点から、地域の行事等へ積極的に参加するよう促し、異文化交流の推進を図っている。</p>						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	50,124 (一般 50,124)	外国語指導助手人数	人	目標値			
				実績値	11		
			目標値		4	4	3
総合評価	<p>○上位施策への貢献 生きる力の基礎となる「確かな学力」の育成に貢献している。</p> <p>○市関与の必要性 学校教育において「生きた英語」を学ばせる機会を与えるため、関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 外国語指導助手の担当校の見直しを更に行い、学校間及び外国語指導助手間にあった授業数の差の解消につなげた。また、外国語指導助手向けの研修を実施し、共通の教材を製作したり、情報を共有するなどして、外国語指導助手の学校現場における不安解消にもつながった。</p> <p>○今後の課題 学校だけでなく、学校の長期休業日を利用して他団体や地域への派遣、異文化体験イベントなどに参加してもらいたかったが、なかなかできない状況であった。今後は、情報提供を行いながら、地域との交流に積極的に取り組んでいこう努める。</p> <p>なお、方向性については、市が主体的に行う幼稚園・小中学校における「英会話科」の取り組みに代わってはならない存在であるため、このまま継続することしたい。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	15				
事業名	学習指導補助教員設置事業			担当課係名	学校教育課 教務2係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	小学校及び中学校においてティーム・ティーチング等きめ細やかな指導を行うことにより、児童・生徒の発達段階に応じた学校教育の実現を図るために、小・中学校の教員免許状または養護教諭の免許状を持つ者を補助教員として配置を行うものである。						
内容	配置基準及び配置人員 (1) 小学校1学年、2学年に31人以上の学級で特に配慮を要する学校 ・平成25年度 1校 4人 ・平成26年度 4校 7人 ・平成27年度 2校 5人 (2) 発達障害等特に配慮を要する学校 ・平成25年度 26校 35人 ・平成26年度 22校 34人 ・平成27年度 25校 36人 (3) 複式学級がある学校 ・平成25年度 4校 4人 ・平成26年度 3校 3人 ・平成27年度 3校 3人						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	105,800 (一般 105,800)	学習指導補助教員の 配置数(年度末時点)	人	目標値			
				実績値	44		
			目標値		4	4	3
			実績値				
総合評価	○上位施策への貢献 子供たちの学習能力の向上が図られ、地域を担う人づくりに貢献できた。 ○市関与の必要性 支援を必要とする子どもたちは、年々多くなっている傾向にあり、きめ細やかな教育の更なる充実策として、市単独で実施しているため、その関与性は高い。 ○達成状況 予算要求した人員数は、学校の状況を把握し、人材を探しながら配置することができた。しかしながら、学校からの要望は非常に多く、要望人員をすべて配置することは予算的にできなかった。 ○今後の課題 児童・生徒数が減少していく中ではあるが、支援を必要とする子どもたちの数は多くなっており、学校からの要望数も多くなっているのが現状である。しかしながら、予算の問題もあり、真に配置が必要な学校の選定が重要である。また、学習指導補助教員の資質の向上並びに近年の人材不足を踏まえ人員確保にも力を入れていく必要がある。更に今後は、身体的又は心の支援を必要とする子どもたちのために、社会福祉士等の資格を有する者の採用などを考慮していく必要があるが、採用人数の課題等もある。					方向性	拡充

点検評価調書		整理番号	16				
事業名	読書活動支援事業			担当課係名	学校教育課 教務2係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	次世代の担い手を育む	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>学校教育において、児童の豊かな感性を磨き、表現力を高め想像力を豊かにし、情報活用能力を向上させる等効果的な読書活動や多様な学習活動を推進するため、全小・中学校に学校司書を巡回配置する。</p> <p>これにより、司書教諭及び学校図書館に関する業務補助を専門とするため、学校図書館教育の充実が図られる。</p>						
内容	<p>図書館業務の専門的知識を有する学校司書を天草市内小・中学校(35校)に、3校に1人の割合で巡回配置する。</p> <p>ただし、学校規模により本渡南小、本渡北小、亀川小、本渡中については、1名を専属で配置している。</p>						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標・成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	34,110 (一般 34,110)	学校司書配置数	人	目標値			
				実績値	18		
					目標値		
実績値							
				4	4	4	
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学校教育のレベル向上には、効果的な読書活動が大切である。</p> <p>○市関与の必要性 図書館担当教員は校務分掌上設けられているが、担任や教科指導等の業務があり、図書室の整備充実まで至っていない。よって、専門的立場から、学校司書の配置による教育効果は大きく、また市単独で実施しているため、市の関与性は高い。</p> <p>○達成状況 図書室の視覚的な環境整備及び蔵書の整備を行うことにより、子供たちの本への関心が高まっており、目的は十分達成されている。</p> <p>○今後の課題 方向性については、毎月の研修会の開催を通じ、学校司書の資質向上及び学校における読書活動内容のさらなる充実を図りながら継続することとしたい。</p>					方向性	継続

点検評価調査		整理番号	17																																	
事業名	総合的な学習活動支援事業			担当課係名	学校教育課 教務1係																															
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	次世代の担い手を育む																														
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成																																
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>体験から興味関心を高めることにより学習意欲の向上を図ることを目的として、学習指導要領の中にある「総合的な学習の時間」において、横断的・総合的な課題などについて、自然体験や社会体験、観察・実験、見学・調査など体験的な学習に係る経費の支援を行なう。</p> <p>また、学習の場を校区外へ広げ、児童が天草の伝統・文化・自然・歴史等とふれあい、理解を深めるなどの体験活動を通して、ふるさとを多面的に捉え、宝島天草を愛し、未来を切り拓く力を育成するとともに体験事業を通して自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力を育むなど「生きる力」を育成する。</p> <p>(平成26年度予算から総合的な学習活動支援事業とふるさと体験事業を統合し実施している。)</p>																																			
内容	<p>市内全小・中学校35校に対し、総合的な学習活動に係る経費を負担する。</p> <p>対象経費：交通費・保険料・講師謝礼・印刷費・消耗品費等</p> <p>【経費内訳】</p> <table border="1"> <tr> <td>①報償費</td> <td>308,500円</td> <td>(小学校:</td> <td>0円</td> <td>中学校:</td> <td>308,500円)</td> </tr> <tr> <td>②旅費</td> <td>40,410円</td> <td>(小学校:</td> <td>0円</td> <td>中学校:</td> <td>40,410円)</td> </tr> <tr> <td>③需用費</td> <td>2,459,154円</td> <td>(小学校:</td> <td>1,441,393円</td> <td>中学校:</td> <td>1,017,761円)</td> </tr> <tr> <td>④役務費</td> <td>58,896円</td> <td>(小学校:</td> <td>11,432円</td> <td>中学校:</td> <td>47,464円)</td> </tr> <tr> <td>⑤使用料</td> <td>1,586,058円</td> <td>(小学校:</td> <td>1,358,108円</td> <td>中学校:</td> <td>227,950円)</td> </tr> </table>						①報償費	308,500円	(小学校:	0円	中学校:	308,500円)	②旅費	40,410円	(小学校:	0円	中学校:	40,410円)	③需用費	2,459,154円	(小学校:	1,441,393円	中学校:	1,017,761円)	④役務費	58,896円	(小学校:	11,432円	中学校:	47,464円)	⑤使用料	1,586,058円	(小学校:	1,358,108円	中学校:	227,950円)
①報償費	308,500円	(小学校:	0円	中学校:	308,500円)																															
②旅費	40,410円	(小学校:	0円	中学校:	40,410円)																															
③需用費	2,459,154円	(小学校:	1,441,393円	中学校:	1,017,761円)																															
④役務費	58,896円	(小学校:	11,432円	中学校:	47,464円)																															
⑤使用料	1,586,058円	(小学校:	1,358,108円	中学校:	227,950円)																															
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評価																															
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況																													
	4,454 (一般 4,454)	実施校	校	目標値				35																												
				実績値	35																															
			目標値		4	4	4																													
			実績値																																	
総合評価	<p>○上位施策への貢献 自然体験や社会体験、観察・実験、見学・調査など体験的な学習を行うことにより、児童・生徒の学習意欲の向上に貢献する事業である。</p> <p>○市関与の必要性 市町村立学校の設置者として学習内容の充実を図り、児童生徒の学力向上のための施策を実施する義務がある。</p> <p>○達成状況 各校で伝統・文化・自然・歴史等の見学や体験活動(企業・工場・施設見学や職業体験など)が実施されており事業目的に寄与している。</p> <p>○今後の課題 各学校における予算執行については、事業統合による影響はないが、各校で学習内容が異なり、予算を一律に配分することは困難であるため、事業予算内で柔軟な対応が必要である。また、学校統合により校区が広域であることから、児童生徒の移動手段の確保等に対応する必要があるため継続したい。</p>					方向性	継続																													

点検評価調査		整理番号	18				
事業名	離島高校生修学費支援事業			担当課係名	教育総務課 総務企画係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む		
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>●目的 御所浦地区の中学校を卒業後、高等学校等に在学する生徒その他天草市御所浦町に住所を有し高等学校等に通学する生徒の保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。</p> <p>●対象 ・御所浦町に住所を有し、高等学校等に自宅から通学している生徒の保護者 ・御所浦中学校を卒業後、高等学校等に通学するため高等学校等の寮若しくはアパートを利用し、又は下宿若しくは間借りしている生徒の保護者</p>						
内容	<p>御所浦地区から高等学校等へ進学する際の、交通費(船賃)及び下宿費等を助成する。</p> <p>●助成額 通学費(国費25%・県費50%・一般財源25%) 下宿等費(国費50%・一般財源50%)</p> <p>■通学費補助 御所浦町から天草市内の高校へ通学する際の交通費(船賃定期券代)の全額を補助 ・補助対象生徒数 24人 ・事業費 3,684,000円</p> <p>■下宿等経費の補助 修学に伴い下宿等を行う場合に月額10,000円を補助(費用が10,000円未満の場合は実費分) ・補助対象生徒数 58人 ・事業費 6,816,000円</p> <p>■合計 ・補助対象生徒数 82人 ・事業費 10,500,000円</p>						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	10,500 (国庫 4,324) (県補助 1,842) (一般 4,334)	補助対象高校生数	人	目標値			
				実績値	82		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 本市における教育の機会均等の観点から、高等学校等が設置されていない御所浦地区の高校生が、安心して勉学に打ち込める環境を整備することができた。</p> <p>○市関与の必要性 離島地区においては教育費負担が重くなっている状況であり、市が関与すべきである。</p> <p>○達成状況 補助対象者全員について、補助金の交付を行う事ができたため、事業の目的を達成することが出来た。</p> <p>○今後の課題 御所浦地域の振興については、御所浦架橋事業の長期化に伴う離島のハンディキャップを解消するために、平成27年度より熊本県が通学費に対する保護者負担分も補助を行い船賃の無料化が実施された。しかし、下宿等補助については、天草島外の高校へ進学した場合は下宿費等経費補助を行うため、他地区に在住する者との公平性が課題であるため、見直して継続したい。</p>				方向性	見直して継続	

点検評価調書		整理番号	19				
事業名	姉妹都市教育交流事業			担当課係名	教育総務課 総務企画係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	国際化の推進	施策計画	姉妹都市・大学との交流 連携による人づくり	
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	国際化の推進			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>・本市の姉妹都市であるエンシニタス市(米国)と相互に生徒の派遣・受け入れを実施することにより、異なる文化や外国語を学び、市民生活や学校生活を体験しながら国際交流を深め、幅広い視野と国際感覚を身に付け、21世紀の郷土を担う心身ともに逞しい青少年の育成を図ることを目的とする。</p> <p>・活動・成果の指標は、下記項目についての実施の有無とする。 ①ホストファミリーとの交流、②小・中・高校生等との交流、③地域住民との交流</p>						
内容	<p>エンシニタス市へ生徒6名・引率者1名を派遣し、交流事業等を実施した。 ■実施時期 平成27年8月3日(月)～12日(水) (10日間) ■事業内容 ①ホームステイ5日間(受入れ家族との交流) ②ロサンゼルス『グリフィス天文台』『ユニバーサルスタジオ』他、エンシニタス市内の名所や施設を訪問した。また、この姉妹都市交流プログラムを通して、天草を訪れたことのある方や、研修生として天草を訪れた生徒の家族の方、現地の学生と交流を深めた。</p>						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	1,500 (一般 1,500)	交流項目	項目	目標値			
				実績値	2		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 異文化体験や国際理解を深めることにより、相互間において大変意義のある事業となり、国際交流の推進を図る事ができた。</p> <p>○市関与の必要性 市民(天草市国際交流市民ボランティア等)と行政が一体となった国際交流活動を推進する必要がある。</p> <p>○達成状況 ホームステイ等をとおして、エンシニタス市民と交流を深めるとともに、派遣生にとって刺激的・効果的な機会が生まれ、幅広い視野と国際感覚を身に付けることができた。</p> <p>○今後の課題 姉妹都市交流事業の一環として中学生派遣、学生の受け入れを隔年行っているが、幅広く交流するという目的に対し、一部の交流に偏っている状況である。また、現在の派遣に伴う選考方法や受け入れ時のホスト選定方法にも課題が多い。教育分野での望ましい姉妹都市交流を行うためには、児童生徒が気軽に参加できるような事業にする必要がある。方向性は見直して継続としたい。</p>					方向性	見直して継続

点検評価調書		整理番号	20				
事業名	学校訪問指導の充実			担当課係名	学校教育課 指導係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	次世代の担い手を育む	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	天草市教育委員会の教育目標及び基本方針に基づき、学校教育の大きな課題である社会の変化に対応できる人材の育成及び児童・生徒の個性の伸長を図り、あわせて本市教育水準の向上に資するため、市内小・中学校の現状を把握するとともに、学校教育の一層の充実を図るため、総合訪問、経営訪問、事務局訪問を行う。						
内容	[総合訪問]・・・小学校 5校、中学校 5校 合計10校 幼稚園 1園 [経営訪問]・・・小学校15校、中学校 8校 合計23校 幼稚園 2園 [事務局訪問]・小学校 2校、中学校 0校 合計 2校						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
		実施校数	校	目標値 35 実績値 35			
		実施園数	園	目標値 3 実績値 3	4	4	4
総合評価	○上位施策への貢献 「確かな学力」「豊かな心の育成」を育むための各園、学校の取組に対して、園・学校現場を訪問し、直接的に指導を行うことは、指導の充実を図るためには必要不可欠である。 ○市関与の必要性 本市の園児、児童生徒に対して、「確かな学力」「豊かな心」の育成を図ることは、本市の責務である。 ○達成状況 本年度も全ての小・中学校及び幼稚園訪問を実施した。教育委員会と学校による事前の打ち合わせにより、それぞれの学校(園)の課題を把握し、課題解決に向け適切な指導助言を行うことができた。特に、本市の重要課題でもある確かな学力の定着に向け、授業参観や分科会指導を通して、一人一人の教職員に対し、学習規律の徹底や指導法の工夫改善に向けた具体的な指導が行えた。多くの学校では、児童生徒が生き生きと学習する姿や、自分の活動に没頭する姿など、望ましい学習習慣定着の状況が確認できた。 ○今後の課題 昨年度までの課題であった学力の学校・学級間較差や生徒指導上の諸問題等の解消については、まだ十分な解消をみていない。一人一人の教師の指導力向上に向けた指導・助言の工夫改善を図っていきたい。方向性については、やり方を工夫して継続することとしたい。					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	21					
事業名	市指定教育研究推進校補助金			担当課係名	学校教育課 指導係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	次世代の担い手を育む		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校や地域の教育的な課題と関係づけた教科等や特別活動の実践的な研究を通して、児童・生徒 の「考える力」「表現する力」「資料を活用する力」「自ら追究する力」の育成を図るとともに、「能動的 な学習のための授業展開の工夫」などについて、その成果を普及することにより、本市教育の充実、 教育向上に資するため、研究校を指定し天草市独自の事業(学力充実に資する様々な取組)を実施 する。							
内容	<p>研究推進校を指定し独自の事業を実施 市指定校 5校(小学校3校、中学校2校)</p> <p>○「学力充実」研究推進校 本渡南小: 分かりやすい授業づくりをとおした「生きる力」の育成のための実践的研究 本渡北小: 「自分の考えをもち、伝え合い高め合う北っ子」を目指して 牛深中: 「分かる」「できる」喜びを実感できる魅力ある授業づくり</p> <p>○「学力充実」「心の教育」研究推進校 本渡中: 自他を思いやり、主体的に学ぶ生徒の育成</p> <p>○教科等(英会話科)研究推進校 亀川小: 「英語に触れる楽しさ」から「英語で伝え合う楽しさ」へ</p>							
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活 動状況等	決算額	指標・成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	1,000 (一般1,000)	指定校数	校	目標値	5			
				実績値	5			
			目標値			4	4	4
			実績値					
総合評価	<p>○上位施策への貢献 指定校の研究への取組が、研究発表会等を通して他の小中学校へ普及すること により、市全体の教育力の向上につながり、児童生徒の生きる力の基盤となる「確 かな学力」の育成に貢献している。</p> <p>○市関与の必要性 市全体の教育の質の向上のためには、研究指定校による研究発表会(授業公開 等)の実施は大変有効な手段である。今後も多くの学校が指定校を経験し、また研究 発表会に参加し、教師一人一人の指導力向上と児童生徒の学力向上に寄与で きればと考えている。そのためにも、市が積極的に関与しなければならないと考 える。</p> <p>○達成状況 研究指定の希望も多くの学校から上がるようになり、教職員の研究意欲の向上 に繋がっている。また、研究成果については、全ての指定校で研究発表会を実施 し、普及することができた。研究発表会へは、可能な限り全ての小中学校から出 していただき、それぞれの指定校の研究成果を広く普及することができた。各学校 では研究成果を自校の校内研究に取り入れるなど、校内研修改革や学習指導の充 実に役立っている。</p> <p>○今後の課題 今後更に研究の成果を広げ、PDCAサイクルで検証しながら、各種会議、研修 会、学校訪問指導等を中心として、天草市内のすべての学校に定着させていく必要 がある。方向性については、指定校が偏らないよう配慮するなどやり方を工夫して 継続することとしたい。</p>						方向性	継続

点検評価調書		整理番号	22				
事業名	地産地消の推進			担当課係名	学校給食課		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	学校給食における食の安全と食文化の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	安心・安全でおいしい給食の提供に努めるとともに地産地消を推進する。						
内容	天草産・熊本県産の旬の野菜等生産物の購入により、感謝の心を育てたり、地域資源でもある農水産物に興味をもたせ、生産者等の顔の見える給食づくりを目指す。						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
		熊本県産農林水産物 (品目の割合) 熊本県産 天草産	%	目標値 55.00 実績値 54.36 24.78			
		天草産農林水産物 (金額の割合)	%	目標値 15.00 実績値 15.64	4	4	4
総合評価	<p>○上位施策への貢献 地元農林水産物の消費拡大に寄与している。</p> <p>○市関与への必要性 地元農林水産物を使用した食育を通し、地元産への関心を高めることで郷土への思いを持たせると同時に農林水産物の生産性を高めるために関与の必要がある。</p> <p>○達成状況 栄養教諭や学校栄養職員と小売業者、生産者との連携を深めるとともに、水産振興課と連携して、新たな事業を行うことにより目標を達成することができた。</p> <p>○今後の課題 天草産の活用については、数量・価格などの課題はあるが、地元JAや生産者及び農林・水産振興課との連携により、地元特産品の活用を図る必要がある。</p> <p>方向性については、献立の内容を充実して継続することとしたい。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	23				
事業名	学校給食施設整備事業			担当課係名	学校給食課		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	学校給食における食の安全と食文化の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切に、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	天草市学校給食基本計画に基づき、児童生徒数の減少及び倉岳学校給食センターの老朽化及び衛生管理基準への適合化等の課題に対応するため、栖本学校給食センターを改修して倉岳学校給食センターを統合し、学校給食業務の効率化と衛生環境の向上を図る。						
内容	<p>栖本学校給食センターと倉岳学校給食センターを統合するため、統合による配食数増加への対応のための内部の改修及び増築工事</p> <p>整備事業期間 平成25年度～平成27年度</p> <p>総事業費(設計監理委託含む) 109,988千円</p> <p>平成25年度 2,258千円</p> <p>平成26年度 32,291千円</p> <p>平成27年度(債務負担行為) 75,439千円</p>						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	75,439 (一般 75,439)	対象事業数	事業	目標値			
				実績値	1		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 天草市学校給食基本計画に基き、学校給食業務の効率化を進めている。</p> <p>○市関与への必要性 施設の老朽化、及び衛生基準への適合化等の課題に対応するためには積極的かつ早急な関与の必要性がある。</p> <p>○達成状況 ・26年度に計画していた改修工事については、市場要因の影響により、達成できなかったが、27年度については工期内に完了することができた。 ・平成27年8月に栖本学校給食センターに統合を行い、2学期から栖本と倉岳の小・中学校に給食を提供することができた。</p> <p>○今後の課題 ・天草市学校給食基本計画に基づき、老朽化が進んでいる他の給食センターについても順次計画を進める必要がある。 ・方向性については、計画の見直しもしながら継続することとしたい。</p>					方向性	継続

点検評価調査		整理番号	24																																
事業名	小・中学校統合推進事業			担当課係名	教育総務課 施設係																														
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 教育を支える環境づくりの推進																														
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切に、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成																															
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画に基づき、複式学級の解消と学校規模の適正化により、活力ある児童・生徒の育成を目指す。</p> <p>○小学校 小学校42校(分校を含む)を17校にする。</p> <p>○中学校 中学校15校を13校にする。</p> <p>○学校数の年度別推移 単位:校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>42</td> <td>41</td> <td>35</td> <td>29</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>					年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	小学校	42	41	35	29	22	22	22	21	17	中学校	15	15	13	13	13	13	13	13	13
年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30																										
小学校	42	41	35	29	22	22	22	21	17																										
中学校	15	15	13	13	13	13	13	13	13																										
内容	<p>1. 小学校</p> <p>(1) 深海・久玉地区の学校統合協議会等を開催して、統合に向けての説明及び協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深海・久玉地区学校統合協議会 1回 ・深海小学校PTA役員との意見交換会 3回 <p>(2) 深海小と久玉小を統合した場合は現久玉小を使用することになっているため、統合に向けて久玉小の改修工事を実施。</p> <p>(3) 志柿・下浦・瀬戸地区学校統合推進協議会を2回開催して、設置条例改正や事業計画等の説明及び協議を行った。</p> <p>(4) 有明地区学校統合推進協議会を2回開催して、設置条例改正や事業計画等の説明及び協議を行った。</p> <p>(5) 平成25年4月に統合した、旧大江小学校体育倉庫の解体を行った。</p> <p>(6) 亀川小学校駐車場測量設計を実施。</p> <p>2. 中学校</p> <p>(1) 五和中学校建設に伴う用地境界確定測量を実施。</p> <p>3 総事業費</p> <p>【小学校統合推進事業】 久玉小学校改修等工事費 5,033千円、旧大江小学校体育倉庫解体工事 954千円 亀川小学校駐車場測量設計業務委託料 2,430千円 計 8,417千円</p> <p>【中学校統合推進事業】 五和中学校境界確定測量委託料 1,296千円 事業費合計 9,713千円</p>																																		
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価																														
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度末 最終年度目標値	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況																												
	9,713 (一般 9,713)	小学校数	校	目標値				22																											
			校	実績値				22																											
中学校数		校	目標値	17																															
		校	実績値	13																															
校	目標値	13																																	
				4	4	3																													
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学校を統合することにより、適正な学校規模となり、子どもたちがより良い教育環境の中で効果的な教育が受けられるようになった。</p> <p>○市関与の必要性 学校の設置及びより良い教育環境の整備は市の責務である。</p> <p>○達成状況 工事等は計画どおり達成できたが、深海小と久玉小の統合についての地元承諾がとれていない。</p> <p>○今後の課題 廃校跡地の利活用が課題である。</p>					方向性	継続																												

点検評価調書		整理番号	25				
事業名	成人式			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	人生の節目を迎えた新成人が大人としての生き方を考え、決意する場、友人と再会しその喜びに浸るとともに、今後の生き方を語り合い励ましあう場、家族が子ども・孫の成長を実感し新成人と共に喜びを分かち合うとともに、新成人が家族への感謝を感じる場とすることを目的とする。						
内容	<p>○10地区で開催 8月16日 牛深、1月3日 本渡、有明、倉岳、栖本、天草、河浦、1月4日 御所浦、新和、五和</p> <p>○対象者数 915人 参加者数 772人(参加率 84.4%)</p> <p>○式典の実施 アトラクションとして各地区の郷土芸能披露や成人者自身が成人としての決意を発表。</p> <p>○終了後記念撮影をして、天草市の記念品として贈呈。</p>						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	1,258 (一般 1,258)	参加率	%	目標値			
				実績値	84.4		
					4	4	4
総合評価	<p>○上位施策への貢献 郷土を愛する青少年の育成に寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 国民の祝日に関する法律の趣旨「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます」によるもの。</p> <p>○達成状況 地域の来賓や保護者に見守られながら、自らが成人となることを実感するとともに、社会人としての責任と義務を自覚する機会となっている。また、新成人の出席率も84.4%と非常に高い。</p> <p>○今後の課題 今後新成人の数は著しく減少する見込みであり、出席率を保ちながら、新成人や保護者、地域にとって魅力ある成人式となるよう内容について検討を続ける。また、アンケート等の結果から当面は、10地区ごとの開催とするが、今後の新成人数の減少と地域の希望等を鑑みながら、適切な開催の在り方についても検討を継続する。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	26					
事業名	移動図書館事業			担当課係名	生涯学習課 中央図書館庶務係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、 文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学 習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習 社会の形成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>図書館のない地域、図書館から遠い地域に住む市民のため、移動図書館車で地域を巡回し、図書館サービスを提供することで、市民の読書活動を推進する。</p> <p>また、小学校・幼稚園・児童館等の配本場所を拡大することで、学校図書館に所蔵していない図書と出会う機会ができ、子どもの読書活動の推進につながる。</p>							
内容	<p>○移動図書館車3台で天草全域に実施している。</p> <p>①中央図書館から本渡・新和・有明・栖本・倉岳地区へ52カ所実施(平成25年度購入)</p> <p>②河浦図書館から河浦・牛深・天草地区へ57カ所実施(平成22年度経済対策で購入)</p> <p>③御所浦図書館から横浦島を含む御所浦全地域31カ所実施(平成23年度天草町から移管)</p> <p>○合計訪問カ所数140カ所 利用冊数104,998冊 利用者数11,326人</p>							
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	指標:成果、活動の対象となるもの			評価				
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	2,880 (一般 2,880)	利用冊数 (対前年実績値比)	冊	目標値	96,633			
				実績値	104,998			
	利用者数 (対前年実績値比)	人	目標値	11,579	4	4	4	
			実績値	11,326				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 図書館から遠距離にある地域に居住する市民へも読書の機会を提供することで、生涯学習の推進に寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 生涯学習推進の基盤である読書活動が積極的に行われるように支援する必要がある。</p> <p>○達成状況 移動図書館車で地域や学校等の各ステーションをまわり、目標とする図書の貸出数を上回ることができた。 また、各ステーションの利用状況を把握し、場所を見直し巡回の効率化を図った。更に、貸出範囲を学校や幼稚園等への拡大を図った。</p> <p>○今後の課題 図書館から遠距離にある地域に居住する市民への利便性と利用者拡大のため、移動図書館での巡回個所を増やすなど、効率的に実施できるよう内容の充実を図りながら、積極的に事業に取り組んでいくこととする。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	27				
事業名	読書活動推進事業			担当課係名	生涯学習課 中央図書館庶務係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、 文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学 習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習 社会の形成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	市民に読書の楽しさを理解してもらい、意欲的に読書に親しんでもらう機会を提供することで、市民の 読書活動の推進を図る。また、読み聞かせボランティアの研修会等を実施することにより、図書館と の連携を強化し、読み聞かせ活動等を家庭や地域に広げることが目的とする。						
内容	<p>○読書フェスティバル:2回開催(エッセイスト・堤江実氏、絵本作家・よしながこうたく氏)した。読み聞 かせと講演会、絵本ライブを行い、245人の参加があった。</p> <p>○ボランティア交流会:読み聞かせボランティアの交流とスキルアップを目的に開催し60人の参加が あった。</p> <p>○童話発表大会:童話、民話などを児童が発表(発表時間は、1~2年生 1人 5分、3~6年生 1人 7 分)する大会で、児童42人が出場し、天草地方大会には12人が出場した。</p> <p>○アマクサ・ライブラリー・カフェ:さまざまなジャンルのゲストを招へいし、年間6回開催した。157人の 参加があった。</p> <p>○古文書学習会:天草の古文書を教材に学習会を開催し、天草の歴史研究家の育成に努めている。 年間67人の参加があった。(毎月第3土曜日開催)</p> <p>○巡回講座:年間計画に基づき各学校等への読み聞かせ活動により、本に親しむ機会を提供する。 27回、2,206人への読み聞かせを行った。</p>						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	735 (一般 735)	図書館利用冊数	冊	目標値			
				実績値	405,711		
	読書フェスティバル来場者数	人	目標値	240	4	4	4
			実績値	245			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 本に親しみ、創造する機会を与えることにより読書意欲の推進を図り、「生 きる力」の基礎を育むことに寄与した。</p> <p>○市関与の必要性 読書活動が積極的に行われるように市民が本に触れる機会を多く提供する 必要がある。</p> <p>○達成状況 読書フェスティバル、ボランティア交流会共に昨年を超える参加があった。 また、童話発表天草地方大会では天草市の2名が最優秀賞を受賞し、熊本 県童話発表大会(11ブロックから23人出場)へ出場した。天草地区代表2名と ともに、特別賞(熊日童話会長賞・熊本県立図書館長賞)を受賞した。</p> <p>○今後の課題 テレビやインターネット等の普及により子ども達の活字離れが進んでいるた め、今後も家庭、地域、学校及び行政が連携協力して、読書活動を推進して いく。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	28				
事業名	生涯学習推進事業			担当課係名	生涯学習課 公民館係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、 文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学 習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習 社会の形成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	市民に多様な学習機会を提供することで市民の学習意欲が高まり、学んだ成果を地域社会に活か すことができるようになる。						
内容	<p>平成25年度からの公民館再編に伴い、旧市町単位で実施する講演会・講座「全体講座」と地域単 位で実施する講座「出前講座」を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全体講座」：市民全体に学習の機会を提供するため旧市町単位で行う講座 具体的な学習例として人権学習、家庭教育講座等 ・「出前講座」：学習の機会を得にくい市民に対して各地区に講師等を派遣する講座 具体的な学習例として健康講座、消費者生活講座等 <p>○平成27年度実績（講座開催数 参加者延人数） 全体講座53回 3,684人、出前講座242回 6,780人、計295回 10,464人</p>						
・全体計画、概要 （平成27年度） ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標・成果、活動の対象となるもの			評 価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	1,975 (一般1,975)	講座開催数	講座	目標値 310 実績値 295			
		参加者延人数	人	目標値 11,000 実績値 10,464	4	4	4
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学習の場の提供は主体的な生涯学習活動への動機付けとなっている。</p> <p>○市関与の必要性 講座等の開催は市民の生涯を通じた学習につながるものであり、生涯学習 社会の構築のために市で取り組んでいくべきである。</p> <p>○達成状況 各種講演会や講座等を通して、市民に多様な学習の機会を提供できた。ま た、地区振興会や各種団体等との連携により地域の特色や要望に応じた講 座の開催ができた。</p> <p>○今後の課題 学習に特化した公民館として、市民に学習機会を提供し4年目となる。 講座開催数、参加者数共に年々増加しているが、高齢者の参加が多いた め、どうしても高齢者を対象とした講座に偏りがちである。このため、幅広い 年齢層が参加しやすい講座・自主的な活動につながる講座等の開催を各 地区公民館計画に盛り込む等、できるだけ多くの市民に学ぶ機会を提供でき よう積極的に事業に取り組んでいく。 また、市民が公民館講座についての情報を得やすいように、情報の発信方 法についても検討をしていく。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	29				
事業名	勤労青少年ホーム事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、 文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学 習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習 社会の形成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	勤労青少年に対して、各種の相談に応じ、必要な指導を行ない、レクリエーション、クラブ活動その他勤労の余暇に行なわれる活動のための便宜を供与する等青少年の福祉に関する事業を総合的に行なうことを目的とする。						
内容	<p>○天草市勤労青少年ホーム 教養講座、スキルアップ講座、特別講座の開催 ①料理講座 ②ピラティス講座 ③ヨガ講座 ④SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)講座 ⑤ビジネスマナー講座 ⑥身だしなみ講座 ⑦コミュニケーション講座 ⑧出張マナー講座 ⑨韓国人留学生マナー講座 ・受講生延べ542人</p> <p>○オープン講座 ・ホームの周知及び会員拡充のために、年齢に関係なくだれでも参加できるオープン講座を開催 ・2月27日 ・本渡地区公民館及び天草市勤労青少年ホーム ・参加者数150人 ・内容 体験講座(ヨガ、料理)、内山隆氏(Ama-biZ副センター長)講演、立食パーティー、ユカリシャスさんライブ及び参加者との音楽交流</p>						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	245 (一般245)	開設講座数	講座	目標値			
				実績値	10		
	受講生数	人	目標値	900	4	4	3
			実績値	692			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 勤労青少年が文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる。</p> <p>○市関与の必要性 勤労青少年が学習や活動を通じ、その成果を社会に活かすための場の提供は市として必要である。</p> <p>○達成状況 勤労青少年の学習や活動の場として勤労青少年の学習や活動の場として利用者のニーズを踏まえた各種講座やオープン講座を開催した。また、講座開催期間を長くしたことで利用者の仲間づくりには効果があったが、利用者は年々減少傾向にある。そのため、社会的な情勢を鑑みて、利用対象年齢を35歳未満から45歳未満に引き上げた。</p> <p>○今後の課題 チラシやホームページ等を活用し、対象である勤労青少年へ事業の周知、啓発に取り組む。また、社会的な状況を鑑みて、利用対象年齢を35歳未満から45歳未満に引き上げたことから、公民館の生涯学習推進事業等と連携した講座の開催など事業を見直して継続したい。</p>					方向性	見直して継続

点検評価調書		整理番号	30				
事業名	コミュニティ・スクールの推進に向けた取組み			担当課係名	学校教育課 指導係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、 連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育 行政の推進			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することを通じて、地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。						
内容	本町小学校及び五和小・中学校に学校運営協議会を設置し、各支援コミュニティの組織づくりと効果的な運用、コミュニティ・スクールへの理解を高めるための啓発活動に取り組む。学校と保護者や地域が、共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子ども達の豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める。						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	指標・成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	417 (一般 417)	設置校数	校	目標値			
				実績値	3		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位政策への貢献 学校、家庭、地域社会がそれぞれの立場から連携を図りながら、地域とともにある学校づくりの推進に向けた取組として貢献している。</p> <p>○市関与の必要性 天草市学校運営協議会規則に基づき、当該協議会の運営状況についての確かつ適切な指導、助言を行うために、市として関与し、把握に努める必要性は高い。</p> <p>○達成状況 平成27年度は、本町小学校、五和小・中学校の3校において実施し、地域の教育力を生かした特色ある教育活動が行われた。</p> <p>○今後の課題 コミュニティ・スクール推進校の取組や実践を、市内の小中学校に広げるとともに、他校での普及・実践の在り方について検討する必要がある。また、熊本版コミュニティ・スクール実施校が増加する中、コミュニティ・スクール実施校の存在意義を再度確認する必要がある。方向性としては、見直して継続としたい。</p>				方向性	見直して継続	

点検評価調書		整理番号	31				
事業名	学校の自己評価			担当課係名	学校教育課 指導係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、 連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育 行政の推進			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校が、その教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図ること、及び評価結果等を広く保護者等に公表していくことにより、児童生徒がより良い教育活動等を楽しめるよう学校運営の改善と発展を目指す取組を指導し、援助を行う。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校の自己評価等について市教委への報告様式を原則統一 <ul style="list-style-type: none"> ①学校経営目標等 ②具体的計画 ③今年度の達成基準 ④自己評価(中間) ⑤自己評価(最終) ⑥分析・改善方策 ⑦学校関係者評価 評価は3段階(A:目標を十分達成した B:おおむね目標どおり C:目標達成が不十分) 学校の自己評価を、保護者・地域に対して公表することを通して、開かれた学校づくりへを一層推進する。 効果的な学校評価が実施できるよう、評価手法等の調査や優れた取組の普及 						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標・成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
		実施校数	校	目標値			
				実績値	35		
	実施園数	園	目標値	3	4	4	4
			実績値	3			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学校が自校の学校運営について適切に自己評価を行い、保護者地域住民に周知することは、学校改革を進め、児童生徒にとってよりよい教育環境を提供するための基盤となるものであり、教育行政の推進に寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 学校教育に対する保護者や地域の期待は高く、それに応えるべく適切な学校評価に基づき本市の学校教育をより充実させることは本市の責務であり、市が関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 全ての学校・園において自己評価及びその公表が適切に行われた。併せて学校評議員等による学校関係者評価も行っており、地域に開かれた学校運営が一層推進されてきた。</p> <p>○今後の課題 自己評価については数値目標が取り入れられるようになり充実してきた。目標設定の難易については、今後検討する必要がある。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	32				
事業名	社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、 連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教 育行政の推進			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動であり、青少年の非行防止を目的とする。</p> <p>また、教育関係者や保護者をはじめ全ての市民の間で本市の教育の現状について理解を深めるとともに、これからの教育のあり方や方向性を見定める機会とし、学校教育や社会教育をはじめとするすべての分野の教育力の活性化を推進することを目的とする。</p>						
内容	<p>○ポスター、横断幕、のぼり旗等の掲示や設置による広報活動やチラシ、啓発用品の配布による街頭啓発活動の実施。</p> <p>○社会を明るくする運動推進委員会の会議及び研修会の開催</p> <p>○高校生と一般市民からの標語及び小中学校児童生徒からの作文を募集し、推進大会で表彰や作文の発表</p> <p>○社会を明るくする運動推進大会・教育力活性化推進大会の開催 (大会の主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河浦高等学校生徒による司会進行 ・オープニング 本渡東中学校生徒(2、3年生全員)による合唱 ・事例発表① 久玉しろやま文庫「地域の中で楽しみ・学び・育ち合う読み聞かせ活動」 ・事例発表② 牛深中学校書道ガールズ(書道部)「感謝の気持ちを伝えます！」 ・記念講演 講師 高野 優さん(育児漫画家、絵本作家) 演題 「子は育ち、親も育つ。楽しまなくっちゃもったいない」 						
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標・成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	849 (一般849)	社会を明るくする運動 標 語・作文応募数	件	目標値 1,000 実績値 1,259			
		社会を明るくする運動推進 大会・教育力活性化推進 大会への参加者数	人	目標値 630 実績値 330	4	4	4
総合評価	<p>○上位施策への貢献 天草市における教育の取組みを認知し、学校・家庭・地域における教育の必要性及び各々が連携することの重要性を理解し、教育力推進の意識高揚を図ることができた。</p> <p>○市関与の必要性 社会を明るくする運動は法務省主唱の全国的な運動であり、青少年健全育成及び安心・安全な地域づくりのため、市として関与する必要がある。また、教育力活性化推進大会についても、市民や教育関係者の教育力を高める契機に繋げるため関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 社会を明るくする運動については作文や標語の募集を行い、保護司会と連携して啓発活動に取り組むことができた。また、教育力活性化推進大会は、参加した市民や教育関係者が、それぞれの今後の活動の参考となり、教育意欲の向上につながった。</p> <p>○今後の課題 参加した市民や教育関係者にとって、今後の活動の参考になるような内容を企画しながら継続する。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	33				
事業名	放課後子ども教室推進事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画 生涯学習の推進		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、 連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教 育行政の推進			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を 設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続 的に提供することで、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとともに、地 域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進す ることを目的とする。						
内 容	地域のコーディネーターが中心となって住民と学校が連携して、放課後等の子どもたちの 居場所を確保するとともに遊びや学習機会を提供する。						
		児童登録者数	実施日数	述べ参加者数	コーディネーター等数		
	本渡東小学校	27人	60日	1142人	11人		
	島子小学校	12人	110日	694人	8人		
	合計	39人	170日	1836人	19人		
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評 価		
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	592 (県支出金 342) (一般 250)	実施校数	校	目標値			
				実績値	2		
		参加者数	人	目標値	1,691	4	4
実績値				1,836			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学校・家庭・地域社会で連携を図り、子どもの居場所をつくることのできた。</p> <p>○市関与の必要性 社会の変化に伴い、家庭教育力・地域教育力の低下が懸念されるため、学 習機会の提供等の支援を行っていく必要がある。</p> <p>○達成状況 2校については、継続して実施でき、放課後等の子どもの居場所を確保す るとともに、地域の方々の参画を得て、学習や体験・交流の機会を提供す ることができた。</p> <p>○今後の課題 地域のコーディネーターとなる人材の確保とともに、「放課後児童クラブ」の 配置状況や進捗状況を見ながら事業の見直しを含め、子育て支援課と協議 を行い継続したい。</p>				方向性	見直し して継続	

点検評価調書		整理番号	34																							
事業名	青少年健全育成事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係																					
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進																				
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、 連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教 育行政の推進																						
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>青少年同士の交流を促し、自然とのふれあいなどの豊かな体験の場を創出すると共に、ボランティア等の社会参加型活動への参加を支援する。</p> <p>地域の伝統的産業を体験して歴史を学ぶことで、ふるさとの魅力を再発見し、郷土を愛する心を醸成できる。また、地元の青年団やお年寄りや異世代交流を行うことにより社会性や自立性が身につく等の大きな成果がある。</p>																									
内容	○青少年交流・自然体験事業(市主催)																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とんとこ漁(御所浦地区)</td> <td>島の特性を活かした伝統の漁法等を通じた中学1年生の体験学習事業を実施し、自然の恵みに感謝する。</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>化石セミナー(御所浦地区)</td> <td>御所浦白亜紀資料館や野外見学地(ジオサイト)で現地学習することで、化石について学び地域への愛着を深める。</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>寺子屋体験学習(栖本・倉岳地区)</td> <td>明治時代初期の「寺子屋学習」を再現し、食事や清掃、礼儀の作法などを学んだり、昔あそびを体験することで、古き良きふるさとを再発見する。</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	内容	参加者数	とんとこ漁(御所浦地区)	島の特性を活かした伝統の漁法等を通じた中学1年生の体験学習事業を実施し、自然の恵みに感謝する。	13	化石セミナー(御所浦地区)	御所浦白亜紀資料館や野外見学地(ジオサイト)で現地学習することで、化石について学び地域への愛着を深める。	32	寺子屋体験学習(栖本・倉岳地区)	明治時代初期の「寺子屋学習」を再現し、食事や清掃、礼儀の作法などを学んだり、昔あそびを体験することで、古き良きふるさとを再発見する。	17								
事業名	内容	参加者数																								
とんとこ漁(御所浦地区)	島の特性を活かした伝統の漁法等を通じた中学1年生の体験学習事業を実施し、自然の恵みに感謝する。	13																								
化石セミナー(御所浦地区)	御所浦白亜紀資料館や野外見学地(ジオサイト)で現地学習することで、化石について学び地域への愛着を深める。	32																								
寺子屋体験学習(栖本・倉岳地区)	明治時代初期の「寺子屋学習」を再現し、食事や清掃、礼儀の作法などを学んだり、昔あそびを体験することで、古き良きふるさとを再発見する。	17																								
内容	○青少年育成事業補助金 青少年を対象とした各種体験活動及び交流活動を行う事業に対し、補助金を交付する。(総事業費が20万円以上の事業に対して、2分の1を補助、限度額20万円。)																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>主催</th> <th>参加者数 (市内の青少年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あまくさ自然学校</td> <td>竜洞山みどりの村運営協議会</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>御所浦小学校・産山小学校海山交流活動</td> <td>御所浦町・産山村海山交流活動実行委員会</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>豊田市立矢並小学校との交流体験活動</td> <td>天草市立本町小学校PTA</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>OMOIYARI道場～スタンドバイみんな～</td> <td>一般社団法人天草本渡青年会議所</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>高森町・茂串地区交流体験活動in高森</td> <td>高森町・茂串地区交流体験活動実行委員会</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>天草高等学校韓国土坪(トピョン)高等学校親善交流事業</td> <td>熊本県立天草高等学校校友会</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	主催	参加者数 (市内の青少年)	あまくさ自然学校	竜洞山みどりの村運営協議会	19	御所浦小学校・産山小学校海山交流活動	御所浦町・産山村海山交流活動実行委員会	33	豊田市立矢並小学校との交流体験活動	天草市立本町小学校PTA	29	OMOIYARI道場～スタンドバイみんな～	一般社団法人天草本渡青年会議所	19	高森町・茂串地区交流体験活動in高森	高森町・茂串地区交流体験活動実行委員会	40	天草高等学校韓国土坪(トピョン)高等学校親善交流事業	熊本県立天草高等学校校友会
事業名	主催	参加者数 (市内の青少年)																								
あまくさ自然学校	竜洞山みどりの村運営協議会	19																								
御所浦小学校・産山小学校海山交流活動	御所浦町・産山村海山交流活動実行委員会	33																								
豊田市立矢並小学校との交流体験活動	天草市立本町小学校PTA	29																								
OMOIYARI道場～スタンドバイみんな～	一般社団法人天草本渡青年会議所	19																								
高森町・茂串地区交流体験活動in高森	高森町・茂串地区交流体験活動実行委員会	40																								
天草高等学校韓国土坪(トピョン)高等学校親善交流事業	熊本県立天草高等学校校友会	9																								
・全体計画、概要 (平成27年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価																					
	平成27年度(千円)	指標名	単位	平成27年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況																			
	1,397 (一般 1,397)	青少年健全育成 補助金申請団体	団体	目標値 6 実績値 6																						
		参加者数	人	目標値 320 実績値 211	4	4	4																			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 子供たちに様々な体験活動の機会を提供することで、青少年の健全育成に大きく寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 青少年の健やかな成長を支えることは社会全体の責任であり、行政、家庭、地域、学校等が相互に協力・補完しながら取り組むことが必要である。 市民団体や地域団体による創意工夫を凝らした青少年健全育成活動を推進するためには、市としても支援を行っていく必要がある。</p> <p>○達成状況 地域の伝統的産業の体験や歴史学習によりふるさとのよさを再発見することで、ふるさとを愛する子どもたちの育成につながった。</p> <p>○今後の課題 市民団体等を主体とした青少年育成活動をさらに活性化するために、補助金要領を随時見直すとともに、事業の周知に力を入れながら、事業を継続したい。なお、対象を各地域の青少年に限定して教育委員会が実施していた「寺子屋体験学習」や「化石セミナー」、「とんとこ漁体験」については、各々の地域づくり事業として、実施主体を変えて実施することとする。</p>					方向性	見直して継続																			